

yame

八女市内遺跡群 1 2

福岡県八女市川犬所在遺跡の調査報告書

八女市文化財調査報告書 第119集

2 0 1 7

八女市教育委員会

Y a m e

八女市内遺跡群 1 2

福岡県八女市川犬所在遺跡の発掘調査

八女市文化財調査報告書 第119集

2 0 1 7

八女市教育委員会

序

合併前の八女市において実施された、八女市南部地区県営圃場整備事業に伴う発掘調査では、多数の遺跡がその存在を知られるに至りました。これらの遺跡の保存と周知は、今後八女市が取り組まなければならない重要な課題となっています。

今回、未報告となっていた平成3年度に実施された、八女南部第2地区県営圃場整備事業に伴う発掘調査で行なわれた、筑後市との市境近くの川犬地区における発掘調査についての調査報告書を刊行することになりました。この遺跡では、中世の遺構・遺物がみつっていますが、現在八女市は、南北朝時代を通じた自治体間の交流事業をおこなっており、中世の人々の暮らしぶりを垣間見ることのできるものとなっています。

最後に、発掘調査や報告書作成にあたりご協力いただきました関係各位、地元の皆様、ご指導・ご助言にいただきました方々に感謝の意を申し上げます。また今後とも文化財行政にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

平成29年3月31日

八女市教育委員会

教育長 西 島 民 生

例言

- 本書は八女市南部第2地区県営圃場整備事業にともない発掘調査された八女市川犬字御興休、および柿園に所在する御興休遺跡・柿園遺跡の発掘調査報告書である。
- 発掘調査は八女市教育委員会が実施し、出土遺物は旧岩戸山歴史資料館で整理を行い、本書に関する調査記録、及び出土遺物は現八女市において保管・収蔵している。
- 本書使用の方位については、調査時に用いられた磁北を基準としている。
- 本書の執筆、及び編集については永田が行った。

本文目次

1 調査の経過	1
(1) 調査に至る経緯	1
(2) 調査体制	1
2 遺跡の立地と環境	2
3 御興休遺跡の調査	6
(1) 発掘調査の概要	6
(2) 遺構と遺物	6
(3) 総括	10
4 柿園遺跡の調査	11
5 総括	

表目次

1 遺物観察表	21
---------	----

挿図目次

第1図 御興休・柿園遺跡 周辺遺跡図〔1/25,000〕	3
第2図 御興休・柿園遺跡 遺跡位置図〔1/2,500〕	4
第3図 御興休遺跡 遺構配置図〔1/200〕	5
第4図 御興休遺跡1号掘立柱建物(SB-01)実測図〔1/60〕	6
第5図 御興休遺跡 1号土坑(SK-01) 実測図〔1/60〕	6
第6図 御興休遺跡 2号土坑(SK-02)・2号溝状遺構(SD-02)実測図〔1/60〕	7
第7図 御興休遺跡 3号土坑(SK-03)・3号溝状遺構(SD-03)実測図〔1/60〕	8
第8図 御興休遺跡 1号溝状遺構(SD-01)実測図〔1/60〕	8
第9図 御興休遺跡 出土遺物実測図〔1/4〕	8
第10図 柿園遺跡 遺構配置図〔1/300〕	9
第11図 柿園遺跡1号竪穴住居(SB-01)実測図〔1/60〕	10

第 12 図	柿園遺跡	1号土坑(SK-01)実測図〔1/60〕	10
第 13 図	柿園遺跡	2号土坑(SK-02)・2号溝状遺構(SD-02)実測図〔1/60〕	10
第 14 図	柿園遺跡	4号土坑(SK-04)実測図〔1/60〕	10
第 15 図	柿園遺跡	5号土坑(SK-05)実測図〔1/60〕	10
第 16 図	柿園遺跡	6号土坑(SK-06)実測図〔1/60〕	10
第 17 図	柿園遺跡	7号土坑(SK-07)・1号不明遺構(SX-01)実測図〔1/60〕	11
第 18 図	柿園遺跡	8号土坑(SK-08)実測図〔1/60〕	12
第 19 図	柿園遺跡	9号土坑(SK-09)実測図〔1/60〕	12
第 20 図	柿園遺跡	10号土坑(SK-10)実測図〔1/60〕	12
第 21 図	柿園遺跡	11号土坑(SK-11)・3号溝状遺構(SD-03)実測図〔1/60〕	12
第 22 図	柿園遺跡	12号土坑(SK-12)・3号溝状遺構(SD-03)・ 2号不明遺構(SX-02)実測図〔1/60〕	13
第 23 図	柿園遺跡	3号溝状遺構(SD-03)・3号不明遺構(SX-03)実測図〔1/60〕	13
第 24 図	柿園遺跡	1号建物(SB-01)・4,5,6,9,10,11,12号土坑(SK-4,5,6,9,10,11,12) 出土遺物実測図〔1/4〕	14
第 25 図	柿園遺跡	1,2号溝状遺構(SD-01,02)出土遺物実測図〔1/4〕	14
第 26 図	柿園遺跡	3号溝状遺構(SD-03)出土遺物実測図1〔1/4〕	15
第 27 図	柿園遺跡	3号溝状遺構(SD-03)出土遺物実測図2〔1/4〕	16
第 28 図	柿園遺跡	3号溝状遺構(SD-03)出土遺物実測図3〔1/4〕	17
第 29 図	柿園遺跡	3号溝状遺構(SD-03)出土遺物実測図4〔1/4〕	17
第 30 図	柿園遺跡	3号溝状遺構(SD-03)出土遺物実測図5〔1/4〕	18
第 31 図	柿園遺跡	1,2,3号不明遺構(SX-1,2,3)出土遺物実測図〔1/4〕	18
第 32 図	柿園遺跡	ピット出土遺物実測図〔1/4〕	19
第 33 図	柿園遺跡	トレンチ出土遺物実測図〔1/4〕	19
第 34 図	柿園遺跡	表採遺物実測図〔1/4〕	20

1 調査の経過

(1) 調査に至る経緯

平成 57 年度を初年度として行われた八女市南部地区県営圃場整備事業では、農地約 209ha を対象に、毎年 20ha 程度の圃場整備事業が実施された。平成元年度には国武、緒玉地区が事業地となり、事業地内の一部で埋蔵文化財の包蔵が推測され、これを受けて八女市教育委員会と八女市南部土地改良区で協議が行われ、八女市教育委員会による事前調査により、遺跡の範囲が広大に及ぶことが判明した。そこで、圃場整備により削平を免れる箇所については遺跡保護の観点から現状保存とし、削平される約 20,000 m²を対象に遺跡の記録保存を目的に発掘調査が行われたのに引き続き、平成 3 年度に実施された八女市南部第 2 地区県営圃場整備事業でも、矢部川によって形成された沖積平野の右岸地区が中心となる多くの地区を対象範囲とをし、原ノ前遺跡（大字新庄）、京田、二反田、宮の前遺跡（大字酒井田）、宿町、野田、水洗遺跡（大字緒玉）、柿園、御輿休で調査が行われた。

なお、発掘調査については国庫補助事業として実施されている。

(2) 調査体制

【平成 3 年度】（現地調査時）

（調査主体）

八女市教育委員会

	教 育 長	坂 田 不二夫	
教 育 部	部 長	松 延 繁 太	
社会教育課	課 長	大 月 重 信	
社会教育係	係 長	下 川 文比古	
同	係 員	平 島 芳 子	井 上 富 雄
		井 出 勇 一	赤 崎 敏 夫(調査担当)

【平成 28 年度】（整理作業・報告書作成・刊行時）

（調査主体）

八女市教育委員会教育長 西 島 民 生

（調査総括）

八女市役所

新社会推進部	部 長	室 園 哲 也	
文化振興課	課 長	栗 秋 克 彦	
文化財保護係	係 長	中 川 寿賀子	
同	係 員	永 田 寧	（本報告担当）
		檀 佳 克	（整理・報告書担当）
		渡 部 真 弓	
	嘱 託	多 賀 晴 司	（整理・報告書担当）

2 遺跡の立地と環境

八女市は平成18年に八女郡に所在していた上陽町、平成22年2月に立花町、黒木町、星野村、矢部村の2町2村と合併し、福岡県下で2番目の東を大分県、南を熊本県と接する広大な自治体となった。多様な生産活動が見られ、東の山間部では杉や檜を中心とした林業が盛んであり、その地形を巧みに利用した文化的景観としての棚田も多数みられる。また、中山間部においては茶や、巨峰などの生産が行われている。平野部では苺や梨、電照菊などが生産されている。

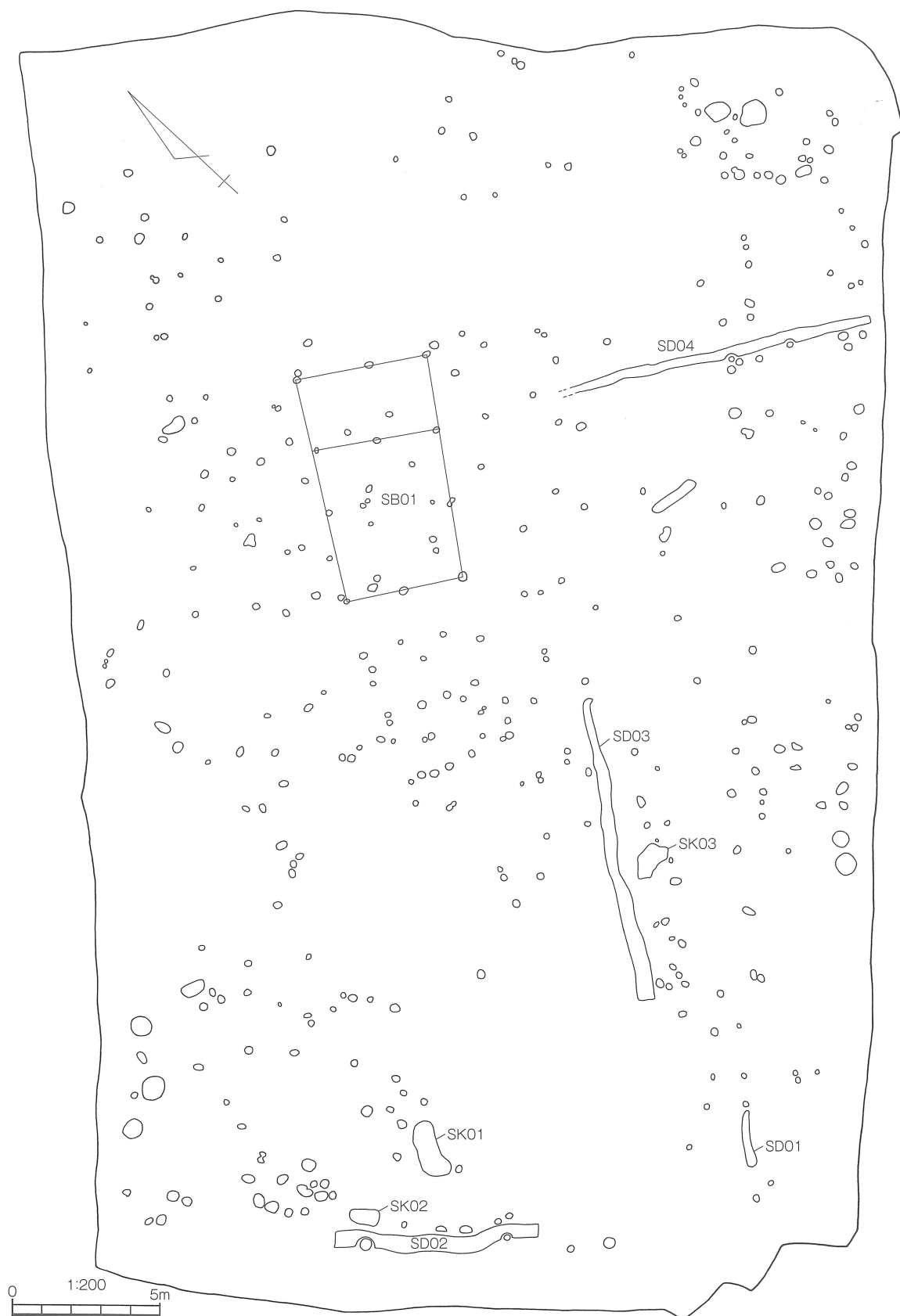
これらの生産活動を可能にしている立地は、大分県との境にそびえる釈迦岳を源とし、有明海に向け西流する一級河川の矢部川が形成したものである。矢部川は以前、水上運搬に供され現市域で行われた産業すべての要であった。

現在の交通事情を概観すると、八女市内には大分県まで延びる国道442号線が東西に走り、交通量の増大に比例しバイパス道路の建設・開通も急ピッチで進んでいる。また、西部地区には九州の大動脈である国道3号線や九州縦貫自動車道が南北を貫いており、八女西部地区はまさに九州のクロスロード的な性格を持っている。



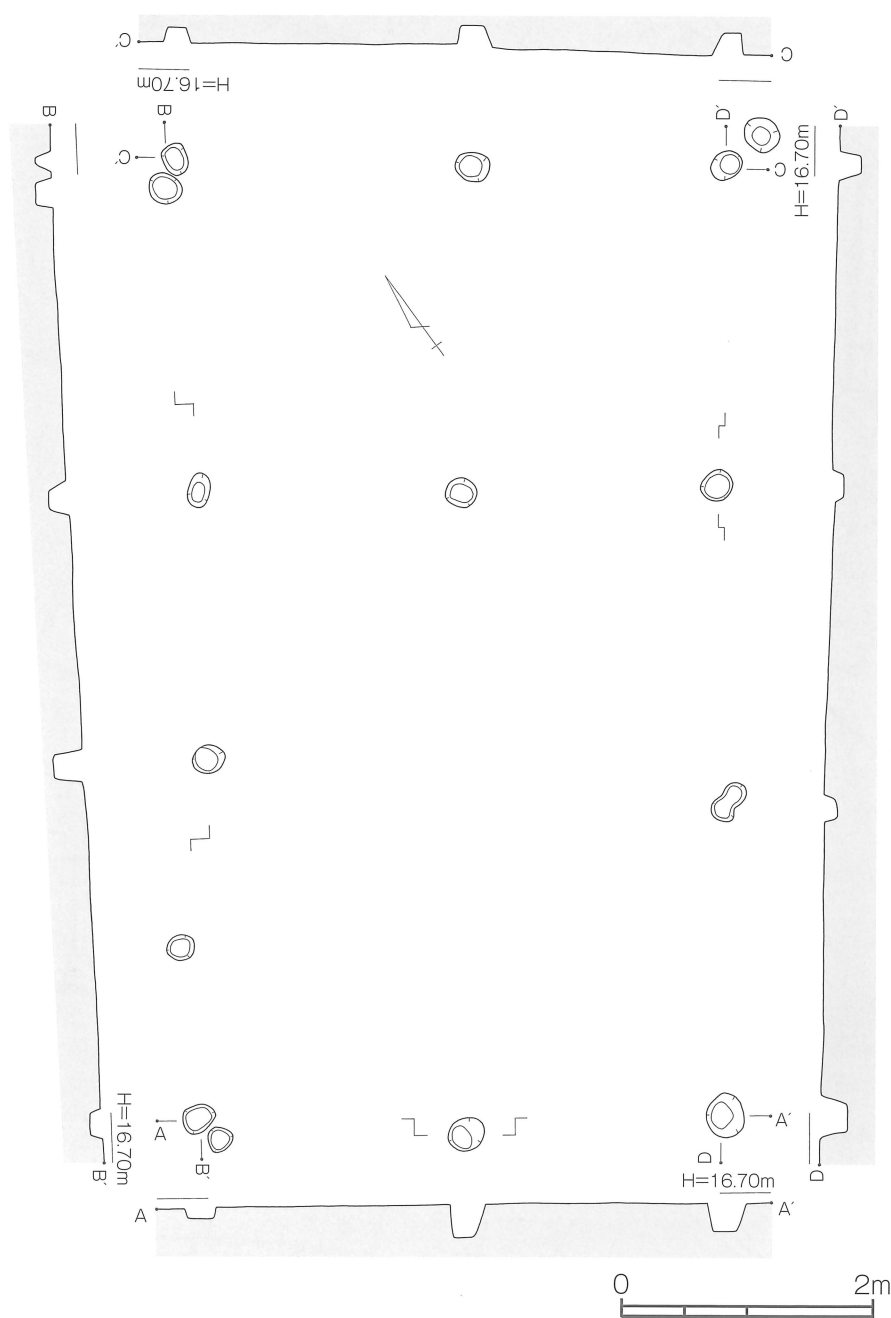


第2図 御奥休・柿園遺跡 遺跡位置図〔1/2,500〕

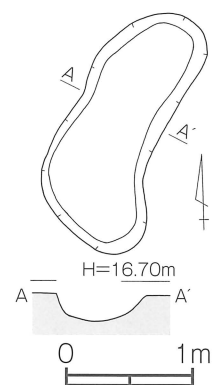


第3図 御輿休遺跡 遺構配置図〔1/200〕

3 御輿休遺跡の調査



第4図 御輿休遺跡1号掘立柱建物(SB-01)実測図〔1/60〕



第5図 御輿休遺跡
1号土坑(SK-01)
実測図〔1/60〕

(1) 発掘調査の概要

御輿休遺跡は八女市川犬字御輿休に位置し、筑後市との市境に近接している。南側の溝口地区（筑後市）の竈門神社は「千燈明祭」と「キセル祭り」で有名である。概報によると、平成4年2月18日から平成4年3月31日まで調査が行われ、調査面積は1,500㎡、遺構検出面の標高は16m～17mの間に収まる。発掘調査の結果、土坑3基と溝状遺構4条が検出されている。加えて整理作業の中で図面上で柱穴が整列しているものを確認し、掘立柱建物と考えられるものを1棟掲載した。

(2) 遺構と遺物

1号掘立柱建物（SB-01）（第4図）

図面上にて柱穴が整列しているものの中で掘立柱建物の可能性があるものを抽出したもので、2間×3間の掘立柱建物で、北東－南西方向に向き、柱穴の間隔は2.5m。

1号土坑 (SK-01) (第5図 図版1
の3 出土遺物 第9図)

調査区の南西側で検出された土坑で、長辺2m×短辺1m弱の不定形をした土坑で、詳細は不明。出土遺物としては鉄鏃として記録のある鉄製品(22)が1点あるのみである。端部が明瞭でなく、他の鉄製品の可能性も考えられる。

2号土坑 (SK-02) (第6図 図版1の3)

1号土坑の西側で検出された土坑で、規模は長辺1m、短辺0.5m
出土遺物は無い。

3号土坑 (SK-03) (第7図)

調査区の中央南寄りで3号溝状遺構の東側にある土坑で、長辺が約1.4mの不定形な土坑である。遺物の出土は無い。

1号溝状遺構 (SD-01) (第8図)

調査区の南隅で検出された長さ約2mの溝状遺構で、概報にあるように3号溝状遺構と平行と考えるには規模が小さすぎるか。遺物の出土は無い。

2号溝状遺構 (SD-02) (第6図 図版1の3)

調査区の南西側中央付近で検出された溝状遺構で、長さ約7mが確認されている。出土遺物は無い。

3号溝状遺構 (SD-03) (第7図 出土遺物 第9図)

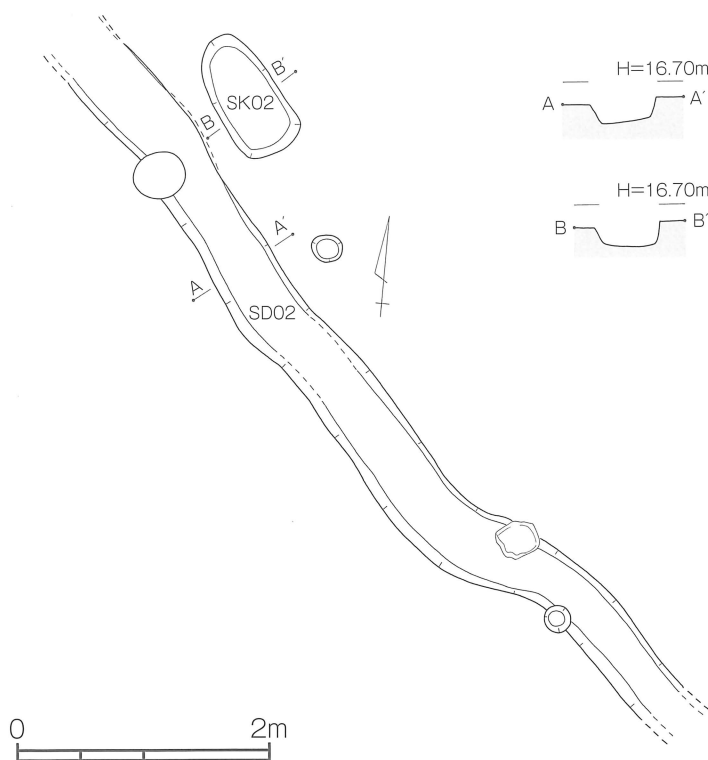
調査区の中央南よりに北東－南西方向に走る溝状遺構で、延長すると4号溝状遺構と直行する位置関係となるが、概報によるとつながる部分が削平されているとのことである。出土遺物として白磁の小片(17)が出土している。

4号溝状遺構 (SD-04) (図版1の4 出土遺物 第9図)

調査区の東隅に近いところに北西－南東方向に走る溝状遺構で、約10.5mを確認している。出土遺物として土師器の皿・碗があり(2・7・8)8は高台が付く。

その他の出土遺物 (第9図 図版4)

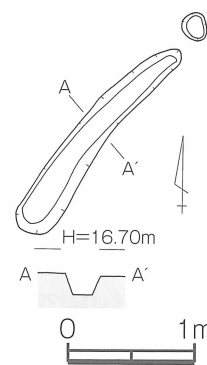
ピット、表採などで出土したそのほかの遺物としては、土師器の皿や碗が中心で、白磁片や瓦器の皿・碗も見られる。15は瓦器、16は玉縁の白磁。21はL字型を呈する断面方形の鉄製品であるが、端部が不明瞭なために詳細は不明。23は円錐状の青銅製品で、キセルか。



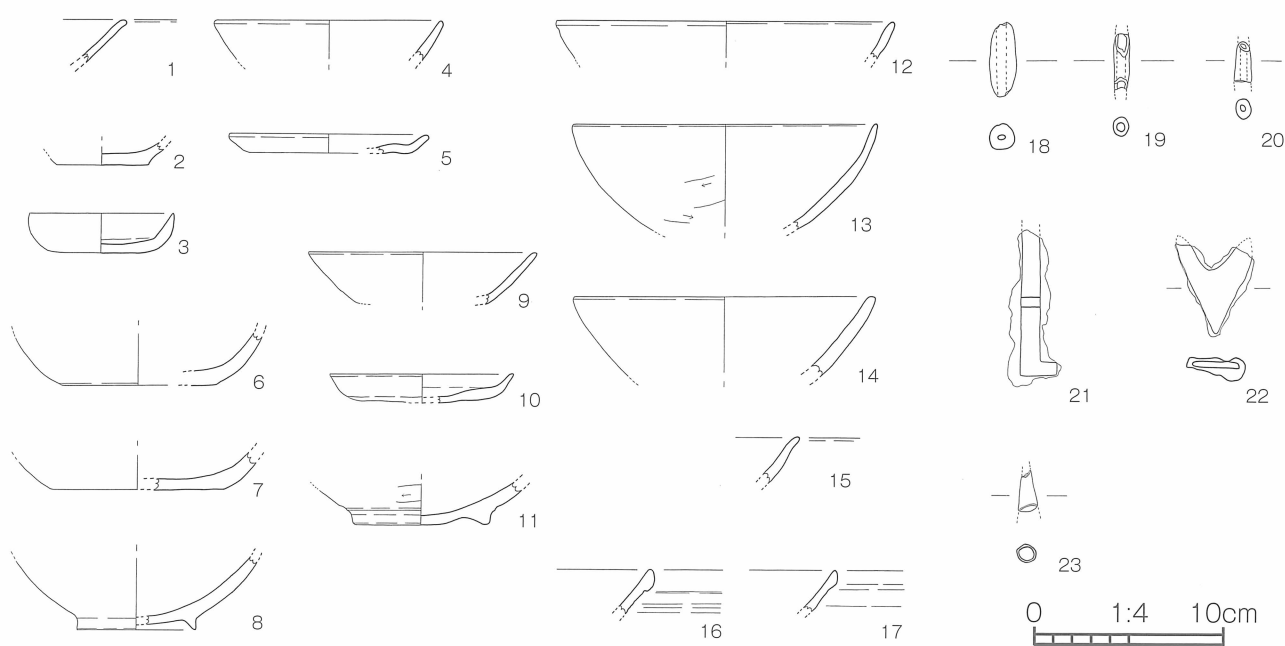
第6図 御輿休遺跡 2号土坑(SK-02)・2号溝状遺構
(SD-02)実測図[1/60]



第7図 御輿休遺跡 3号土坑
(SK-03)・3号溝状遺構(SD-
03)実測図〔1/60〕



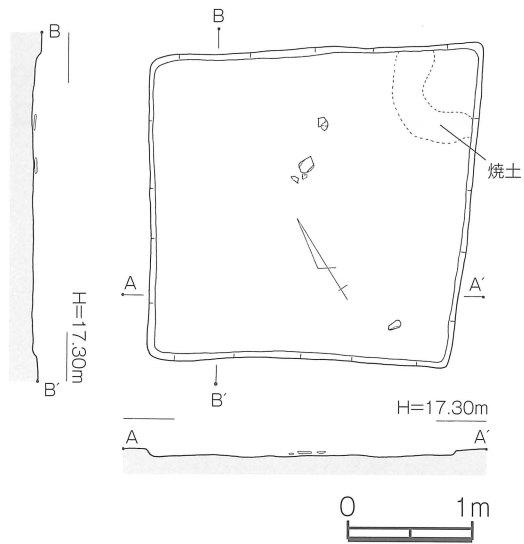
第8図 御輿休遺跡 1号溝状
遺構(SD-01)実測図〔1/60〕



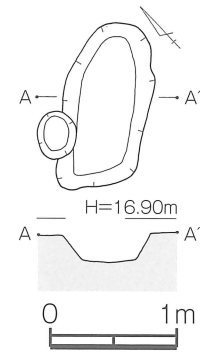
第9図 御輿休遺跡 出土遺物実測図〔1/4〕



第 10 図 柿園遺跡 遺構配置図〔1/300〕



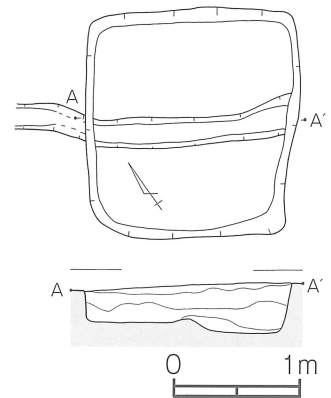
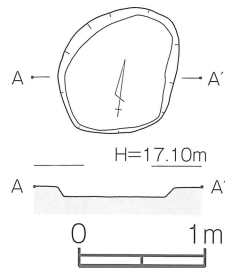
第14図 柿園遺跡 4号
土坑(SK-04)実測図
〔1/60〕



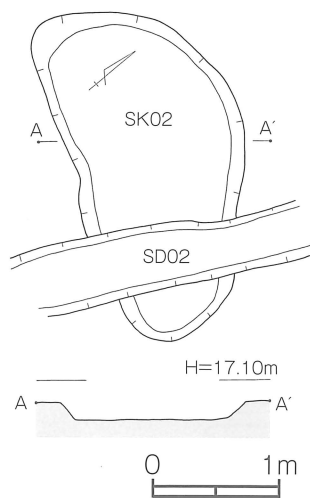
第15図 柿園遺跡
5号土坑(SK-05)実
測図〔1/60〕

第11図 柿園遺跡1号竪穴住居
(SB-01)実測図〔1/60〕

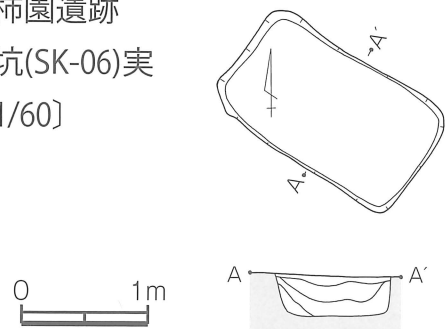
第12図 柿園遺跡
1号土坑(SK-01)
実測図〔1/60〕



第13図 柿園遺跡
2号土坑(SK-02)・
2号溝状遺構(SD-
02)実測図〔1/60〕

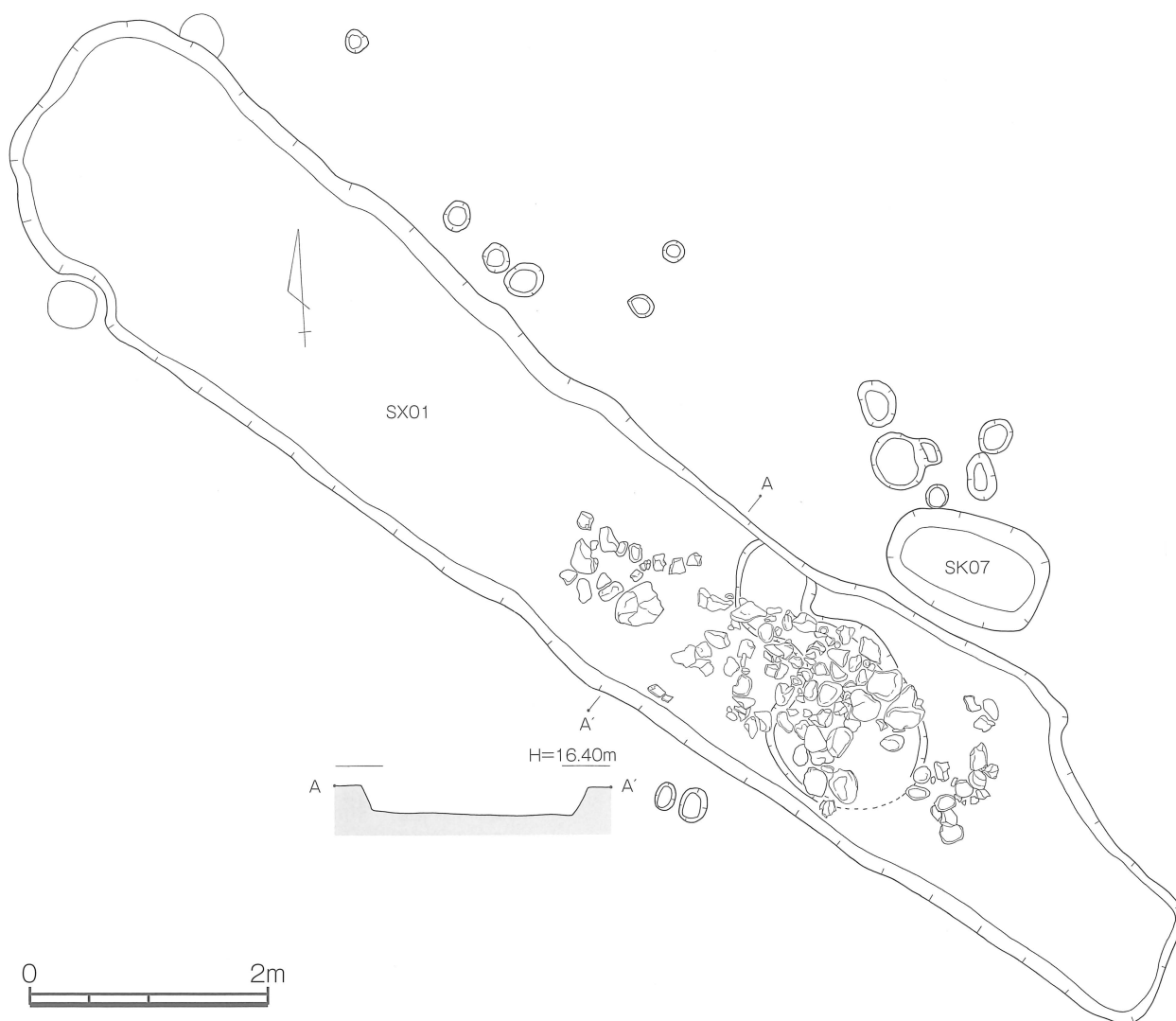


第16図 柿園遺跡
6号土坑(SK-06)実
測図〔1/60〕



(3) 総括

3号溝状遺構と4号溝状遺構は直行する位置関係にあるものの、関連がある可能性を考えるには至らない。遺物から、この御輿休遺跡は柿園遺跡とほぼ同時期と考えられる。



第 17 図 柿園遺跡 7号土坑(SK-07)・1号不明遺構(SX-01)実測図〔1/60〕

4 柿園遺跡の調査

(1) 発掘調査の概要

柿園遺跡は八女市川犬字柿園に位置し、御輿休遺跡の東隣に位置する。概報によると、平成3年12月21日～平成4年3月31日まで調査が行われ、調査面積は約3,000㎡である。標高は御輿休遺跡と同様、16m～17mの間に収まる。

(2) 遺構と遺物

1号竪穴住居 (SB-01) (第11図 図版2の3 出土遺物第24図)

調査区中央南寄りで検出された、1辺ほぼ2.5mの正方形の竪穴住居である。東側コーナー付近で焼土がみられる。出土遺物として中央床面で1の土師器の甑が出土している。

1号土坑 (SK-01) (第12図 図版2の4)

調査区の北東壁付近で検出されたいびつな円形の土坑で、最大幅約1.1m、深さ0.1m、出土遺物は無い。

2号土坑 (SK-02) (第13図 図版3の1・2)

1号土坑の北側にある東西に長い土坑で、最大幅2.8m、深さ0.08m、SD-02に切られる。

出土遺物は無い。

4号土坑(SK-04)(第14図 出土遺物 第24図)

1号竪穴住居の北側、調査区の中央あたりにある土坑で、最大幅約側1.3m、深さ約0.15mで楕円形を呈する。出土遺物は比較的多く、2は須恵器の坏蓋のつまみ、4・5は外部に丹塗りの施された坏、9は小型の壺。

5号土坑(SK-05)(第15図 出土遺物 第24図)

3号溝状遺構(SD-03)に切れ、4号溝状遺構(SD-04)を切る一辺約1.7の方角を呈する土坑である。出土遺物の10・11は土師器の皿。

6号土坑(SK-06)(第16図 出土遺物 第24図)

5号土坑の南西にあり、北西-南東方向に長い長辺1.4m、短辺0.8mの方角の土坑で深さ0.3m、5号土坑と平行に作られているように見受けられる。出土遺物は12の底部糸切りの皿。

7号土坑(SK-07)(第17図)

長辺1.3m、深さ約0.1mの隅丸方形の土坑で、比較的遺物が多く出土した1号不明遺構(SX-01)の北側に近接して検出されたが、この遺構からの出土遺物は無い。

8号土坑(SK-08)(第18図)

7号土坑の南東側にある歪んだ円形の土坑で、最大幅約1.3m、深さ約0.1m、出土遺物は無い。

9号土坑(SK-09)(第19図 出土遺物 第24図14)

3号溝状遺構(SD-03)に囲まれた内側には多数のピットが検出されているが、9号土坑はその最も密度が高い中心あたりで検出されている。南側が細く、深くなった不定形のプランを呈し、最も深いところで約0.8mである。出土遺物に土師器の鉢。

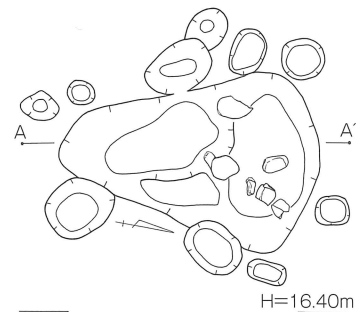
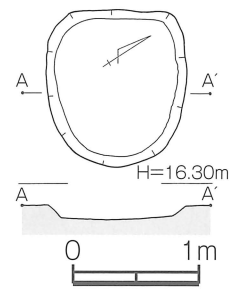
10号土坑(SK-10)(第20図 図版2の4 出土遺物 第24図15)

9号土坑の南東側で検出された、南北方向に長い土坑で、長辺2.7m、深さ約0.15m~0.2mを測り、南側に行くにつれて深くなる。出土遺物は

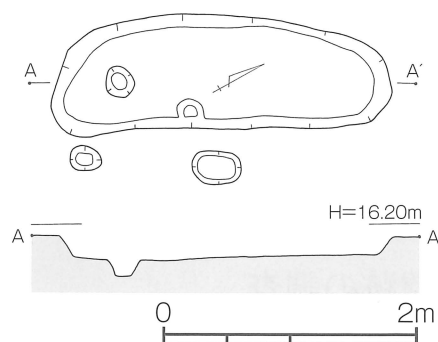
第18図 柿園遺跡

8号土坑(SK-08)

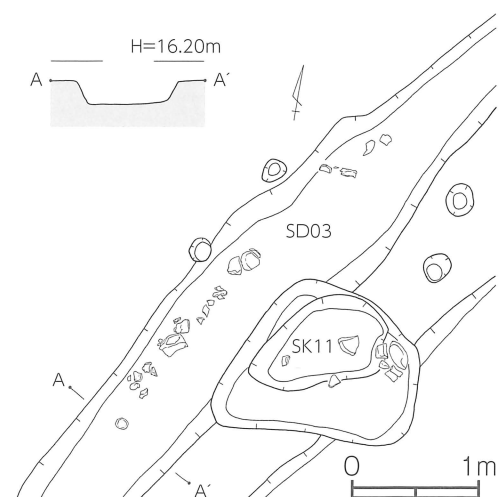
実測図[1/60]



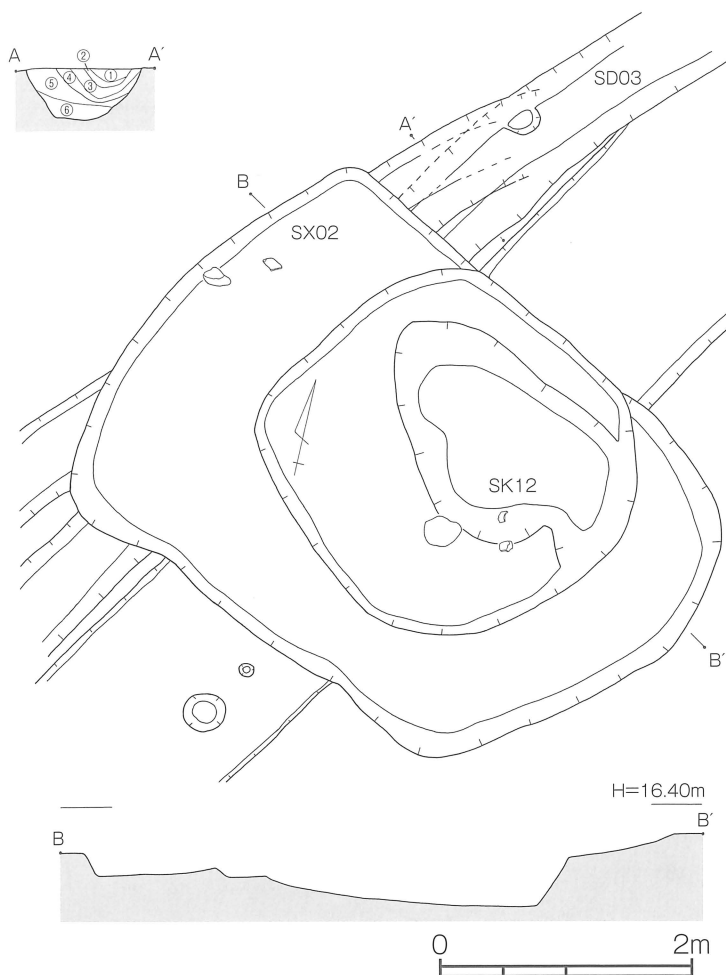
第19図 柿園遺跡 9号土坑 (SK-09)実測図[1/60]



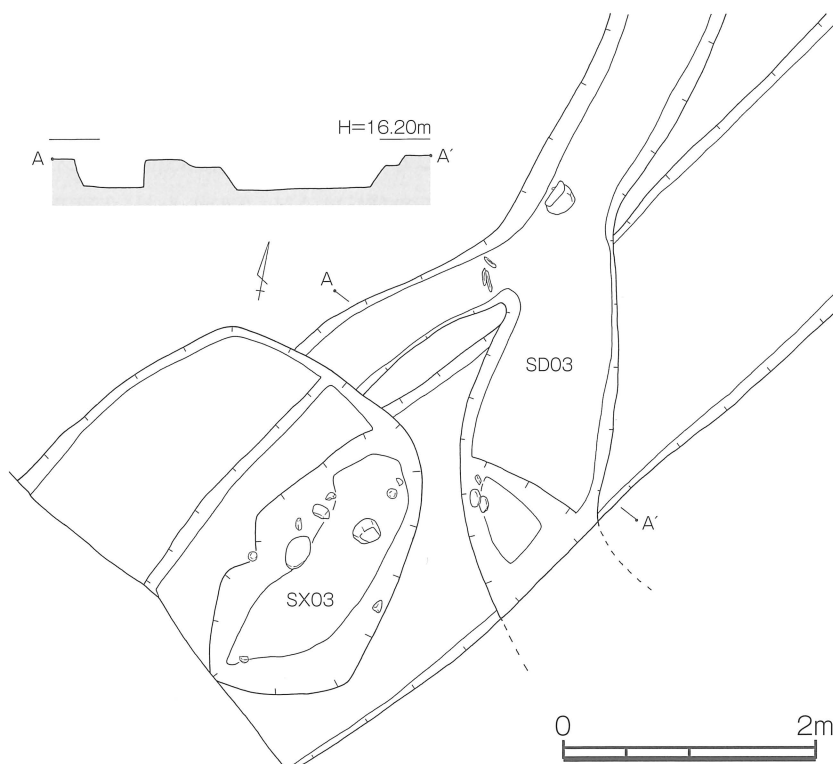
第20図 柿園遺跡 10号土坑 (SK-10)実測図[1/60]



第21図 柿園遺跡 11号土坑(SK-11)・3号溝状遺構(SD-03)実測図[1/60]



第22図 柿園遺跡 12号土坑(SK-12)・3号溝状遺構(SD-03)・2号不明遺構(SX-02)実測図〔1/60〕



第23図 柿園遺跡 3号溝状遺構(SD-03)・3号不明遺構(SX-03)実測図〔1/60〕

鉢か、あるいは盤。

11号土坑(SK-11)(第21図
出土遺物 第24図16～18)

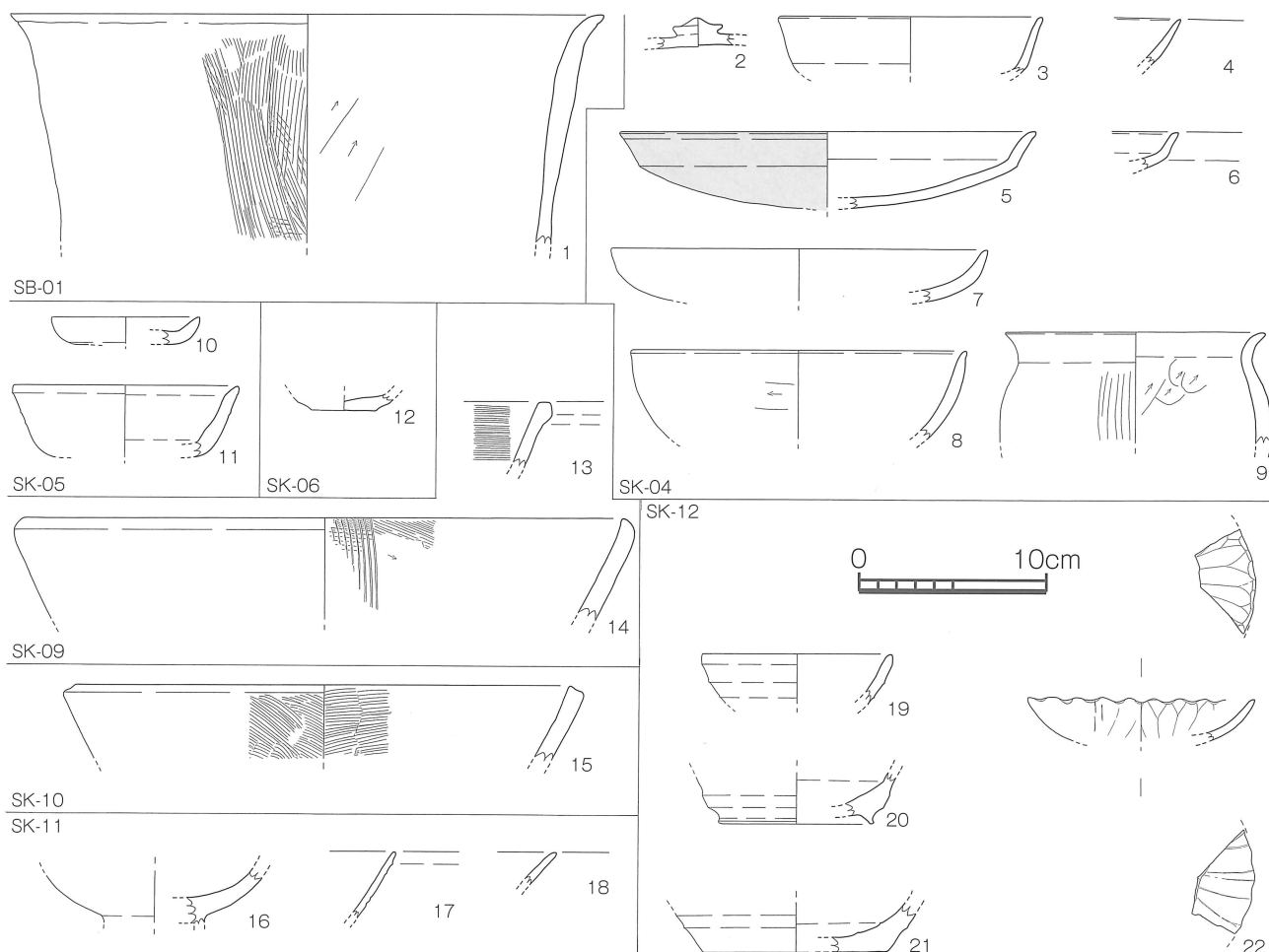
3号溝状遺構を切る不定形の土坑で、最大幅1.7m、深さ約0.1mである。出土遺物は青磁の椀(16・18)白磁の小片(17)。16の青磁は平面図上の記録によるとこの土坑の一段低くなったあたりの、比較的上方で出土している。

12号土坑(SK-12)(第22図
図版3の5・6 出土遺物
第24図19～22)

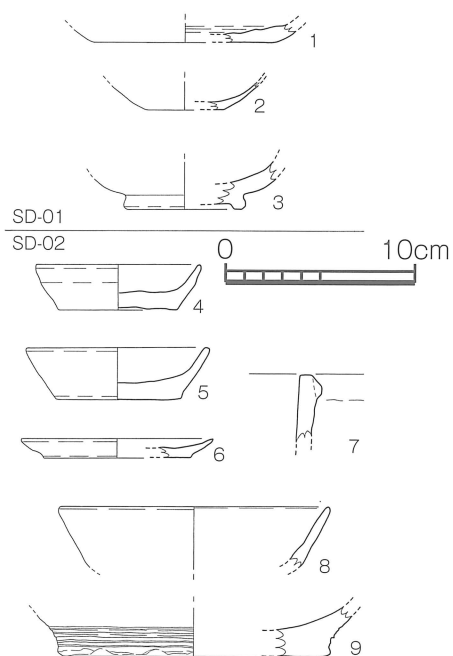
現地調査時に作成された図面上の記述が曖昧で正確ではないが、外側の2号不明遺構の内部にある土坑を12号土坑として記録されていると考えた。最大幅2.8mを測るやや不定形な円形の土坑で、東側がさらに深くなり、最も深いところで検出面から約0.4mほどで、写真から出土遺物のうち、(20)の須恵器片はこの低くなった底部に近いところで出土しているようである。(22)は花卉削り出しの青磁片。

1号溝状遺構(SD-01)
(図版3の8 出土遺物
第25図1～3)

柿園遺跡の調査区は、以前に刊行された概報で公開されている箇所についてのみ把握しており、整理作業を進めていたが、出土遺物の注記の中に、「B区」と記述されたものが確認でき、



第 24 図 柿園遺跡 1号建物(SB-01)・4, 5, 6, 9, 10, 11, 12号土坑(SK-4, 5, 6, 9, 10, 11, 12)出土
遺物実測図〔1/4〕



第 25 図 柿園遺跡
1, 2号溝状遺構
(SD-01, 02)出土遺
物実測図〔1/4〕

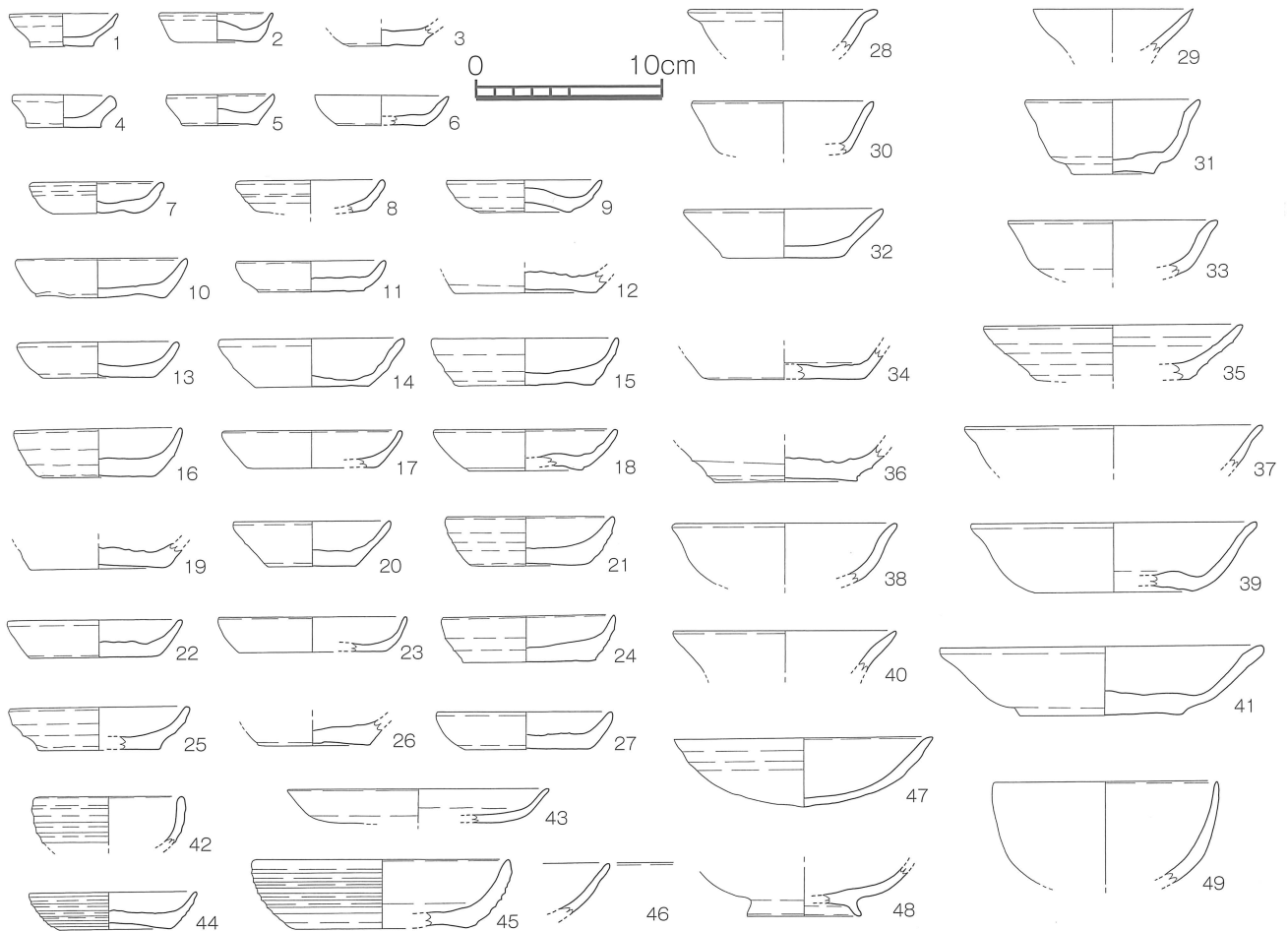
他の調査区の存在の可能性が見いだされ、調査時の図面及び写真を確認したところ、トレンチ④となっている区域が当初「A区」として記録され、このSD-01 がそこに含まれるとの結論に至った。このトレンチ④が概報で示されている箇所に対してこういった位置にあたるのかは不明であるが、写真と出土遺物を掲載することとした。出土遺物は土師器の坏（1）、青磁の皿（2）、碗（3）が出土している。

2号溝状遺構（SD-02）（第 13 図）

1号竪穴住居の東側に、3号溝状遺構に直行する方向に走る遺構であるが、3号溝状遺構には接することなく切り合いは不明。

3号溝状遺構（SD-03）（第 21～23 図 図版3の1～4 出土遺物 第 26～30 図）

調査区南西側で検出された溝状遺構で、1号竪穴住居の南側から北西に延び、北側でピットが多数検出されている箇所を取り囲むようにしてコーナーを設け、緩やかに南西側に屈曲し、2号不明遺構に切られ、南西の調査区外へ延びる。全長約

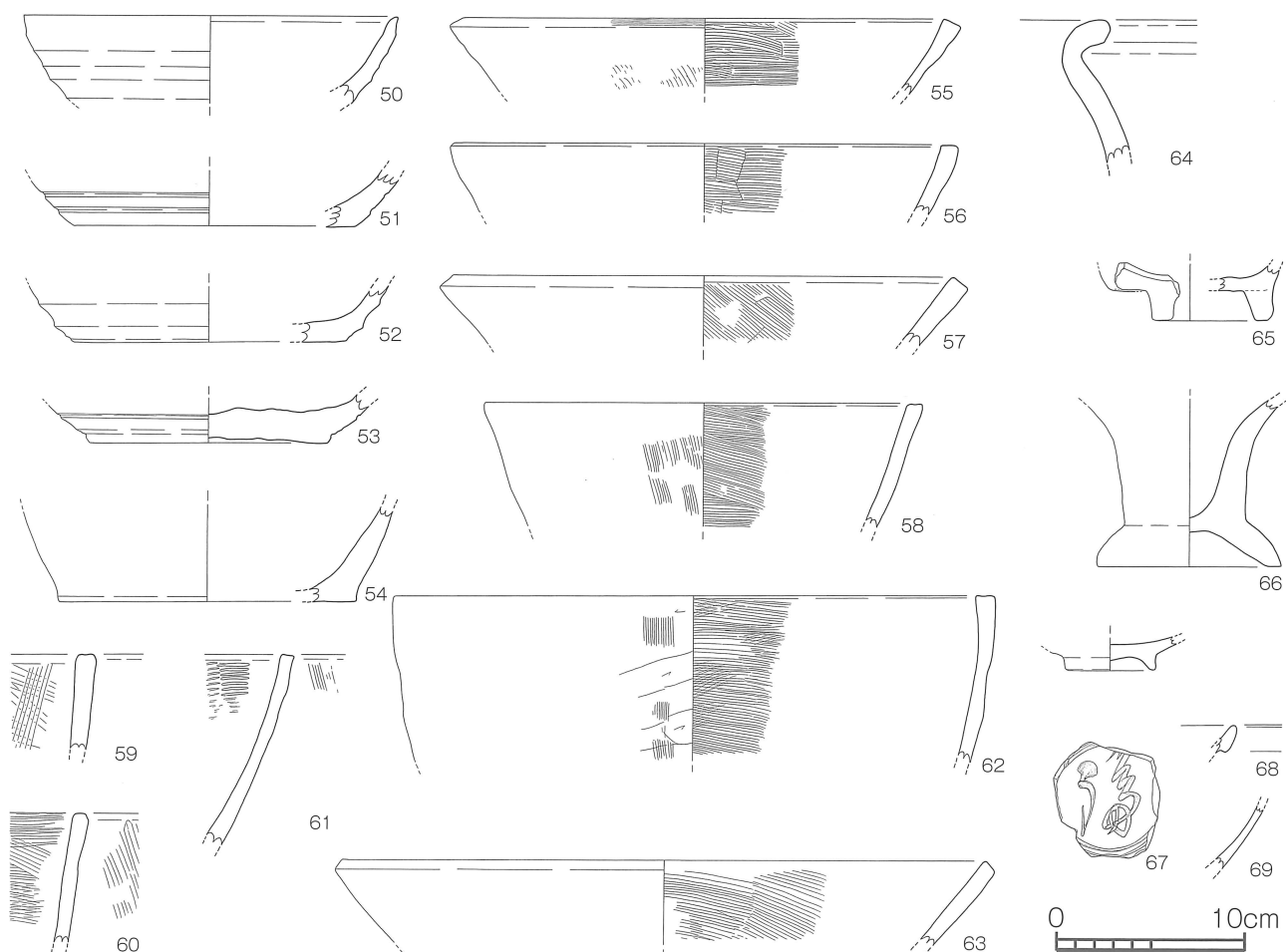


第 26 図 柿園遺跡 3号溝状遺構(SD-03)出土遺物実測図1〔1/4〕

45m が確認されている。この遺構は較的直線的な溝の内側に、これを切るようにして比較して浅い溝が設けられており、遺物は外側にある当初の直線的な溝からの出土が多いことが写真や平面図から確認できる。この遺跡の過半数の遺物がこの3号溝状遺構からの出土で、写真から確認すると遺構の比較的浅い層で出土しているものが多く見受けられる。出土遺物は点数が多いので、種別によって大きく分けて掲載することとする。皿・坏類（第26図）1～33は土師器の皿で、底部が確認できるものはすべて回転糸切りである。34～41・43・45は坏で、うち34・43は瓦器、他は土師器。46～48は瓦器碗で、47・48は高台付き。鉢・その他（第27図）51～61は鉢、51～54は甕の可能性も。65は脚付きの坏、66は器台か。67は染付で底部内側に書かれた文字は「福」か。68は白磁の細片で玉縁。盤・鍋（第28図）70～80は盤、あるいは鍋。鍋・羽釜・火鉢・火舎（第29図）83は鍋、羽は全体を巡らず把手である可能性もある。羽（把手）上に穿孔される。84～86は羽釜、87・88は把手のついた鍋で、把手の両端上にそれぞれ穿孔される。89は火鉢、あるいは火舎の体部で、突帯上部に菱目のスタンプが確認できる。90・91は火舎で、脚部根元両脇に円・半円形のスタンプ、91は体部下突帯上部に三つ巴のスタンプが付く。92・93は瓦器で火鉢。瓦（第30図）94～97は丸瓦、98・99は平瓦、97以外はすべていぶしが施されていない。

1号不明遺構（SX-01）（図版3の2 出土遺物 31図1～13）

3号溝状遺構の内側（南側）で3号溝状遺構に平行に走る、幅約2m、深さ0.2～0.3m



第 27 図 柿園遺跡 3号溝状遺構(SD-03)出土遺物実測図2〔1/4〕

の遺構で、写真を確認すると多量の石とともに遺物が出土している様子が確認できる。出土遺物は、土師器の皿（1～4）坏（6～8）瓦器の椀（5）、甕（9）鍋（10）白磁椀（11）青磁椀（12・13）で、8は外面が丹塗り、12は外面に蓮華紋が施される。

2号不明遺構（SX-02）（第 22 図 出土遺物第 31 図 14～21）

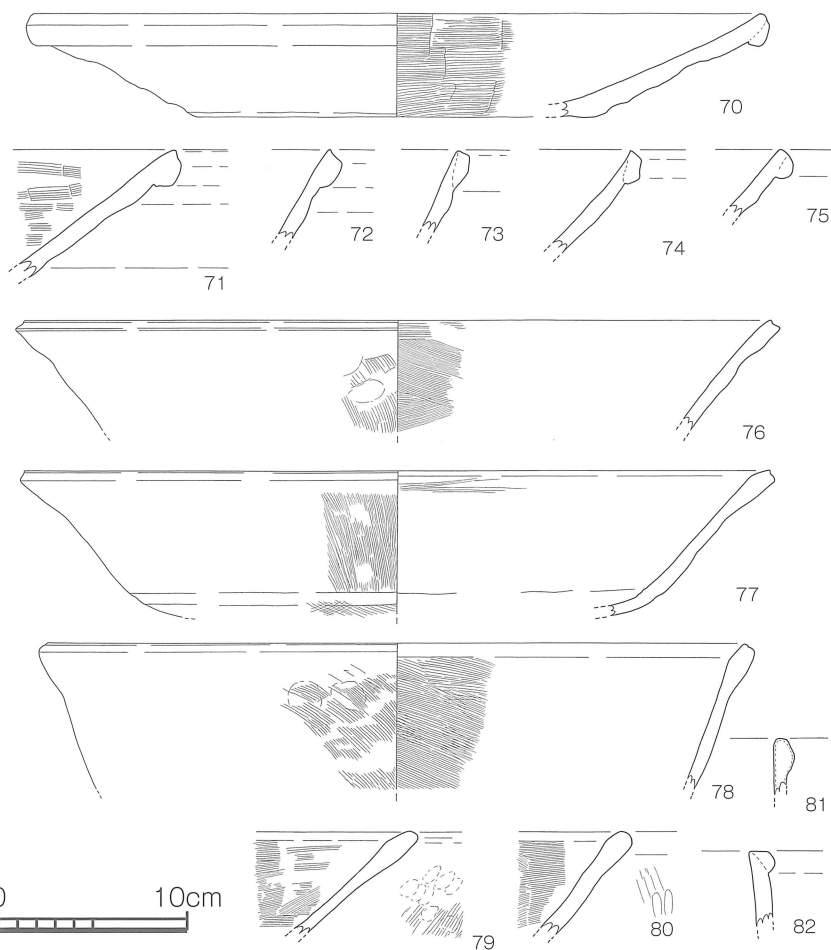
調査区中央東寄りに東南東－西南西方向に走る溝状遺構で、約 20m が確認されている。出土遺物は土師器の皿（14～18）、（19）は脚付の土師器の椀、（20）は土師器の盤、（21）は鍋、（22）は青磁、（23・25）は白磁の椀の口縁部の小片、（24）は染付の椀である。

3号不明遺構（SX-03）（第 23 図 出土遺物 第 31 図 27～29）

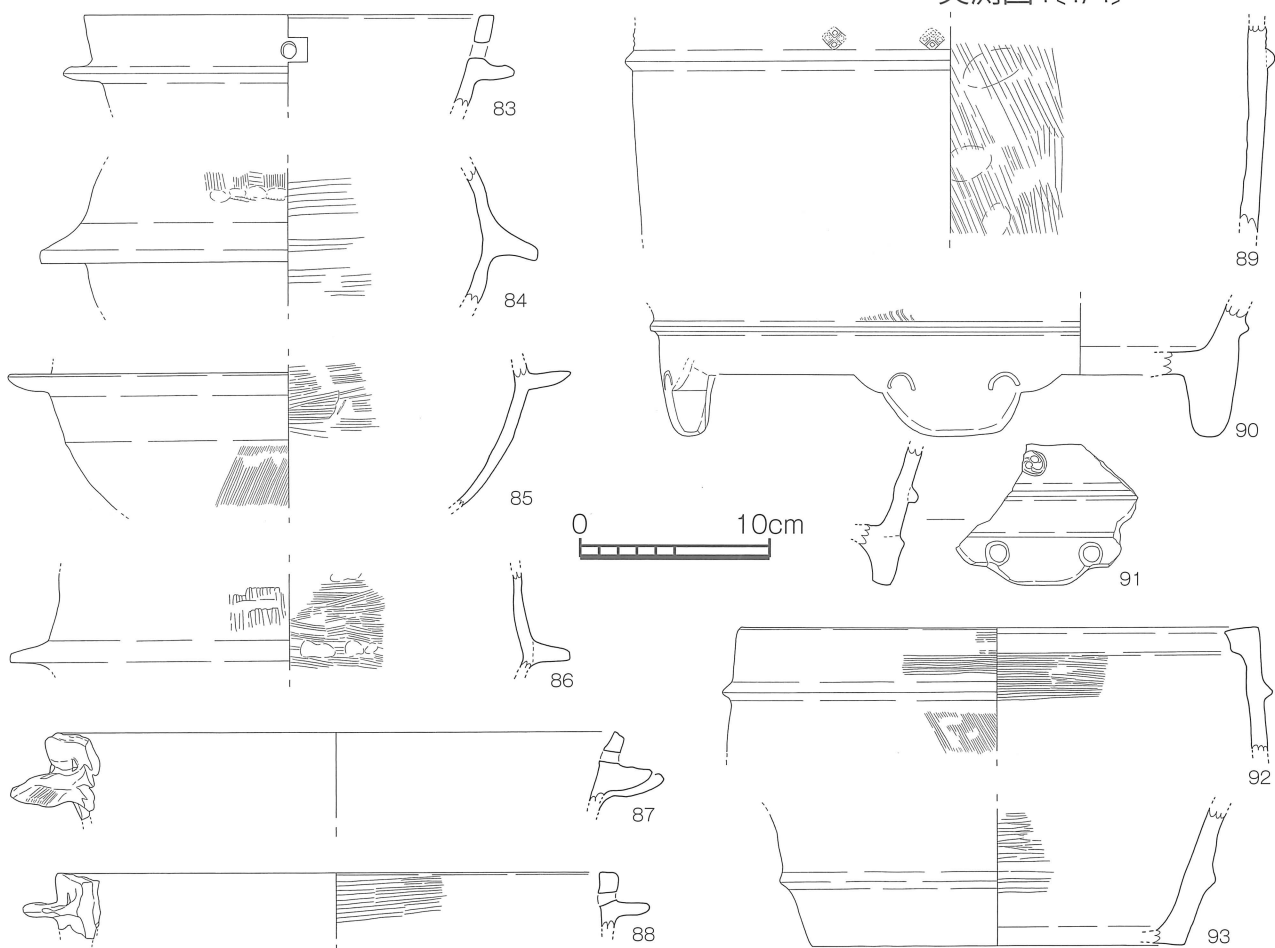
調査区南側境界で 3 号溝状遺構を切る、歪んだ隅丸方形の土坑で、確認できる最大幅は約 3 m、南東側で深くなっており、最も深いところで 0.3m である。出土遺物は土師器の皿（27）、盤（28・29）。

その他の遺物（第 32～34 図）

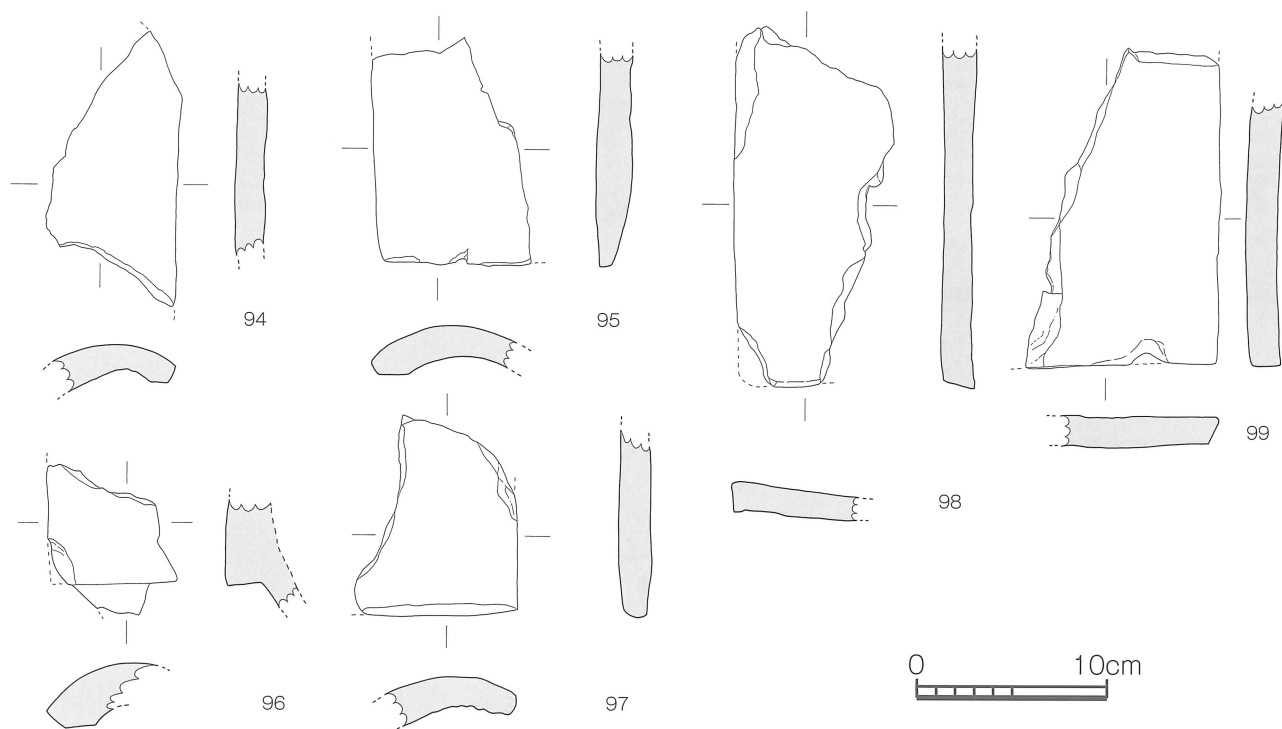
その他ピット、トレンチ掘削時に出土した遺物、及び表採したものについてここに挙げる。第 32 図はピットから出土したもので、殆どが 3 号溝状遺構の内側である。1～14 は土師器の皿、口縁端部が鋭く外反するものと丸く収めるものが半々で、底部が確認できるものは回転糸切りで、糸切り痕をナデて消しているものは殆ど無い。15・16 は坏、17・18 は底径の割に口径が狭く、直線的に立ち上がる。20 は鉢の底部か、24 は瓦器の椀で、内外部に磨きがかかる。29・37・38 は青磁の椀、30 は摺鉢、31 は釜の肩部片か、



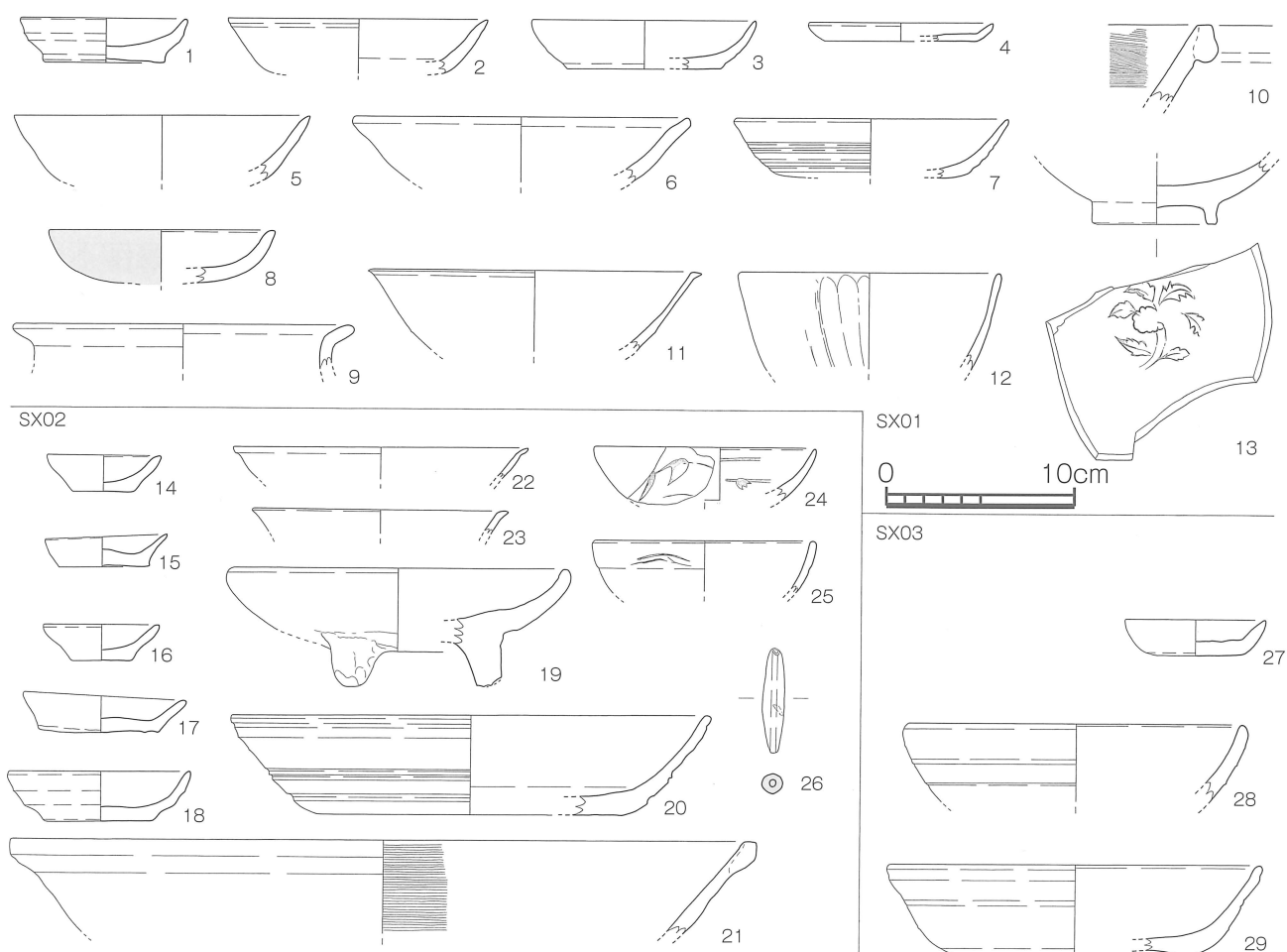
第28図 柿園遺跡 3号溝状遺構(SD-03)出土遺物実測図3〔1/4〕



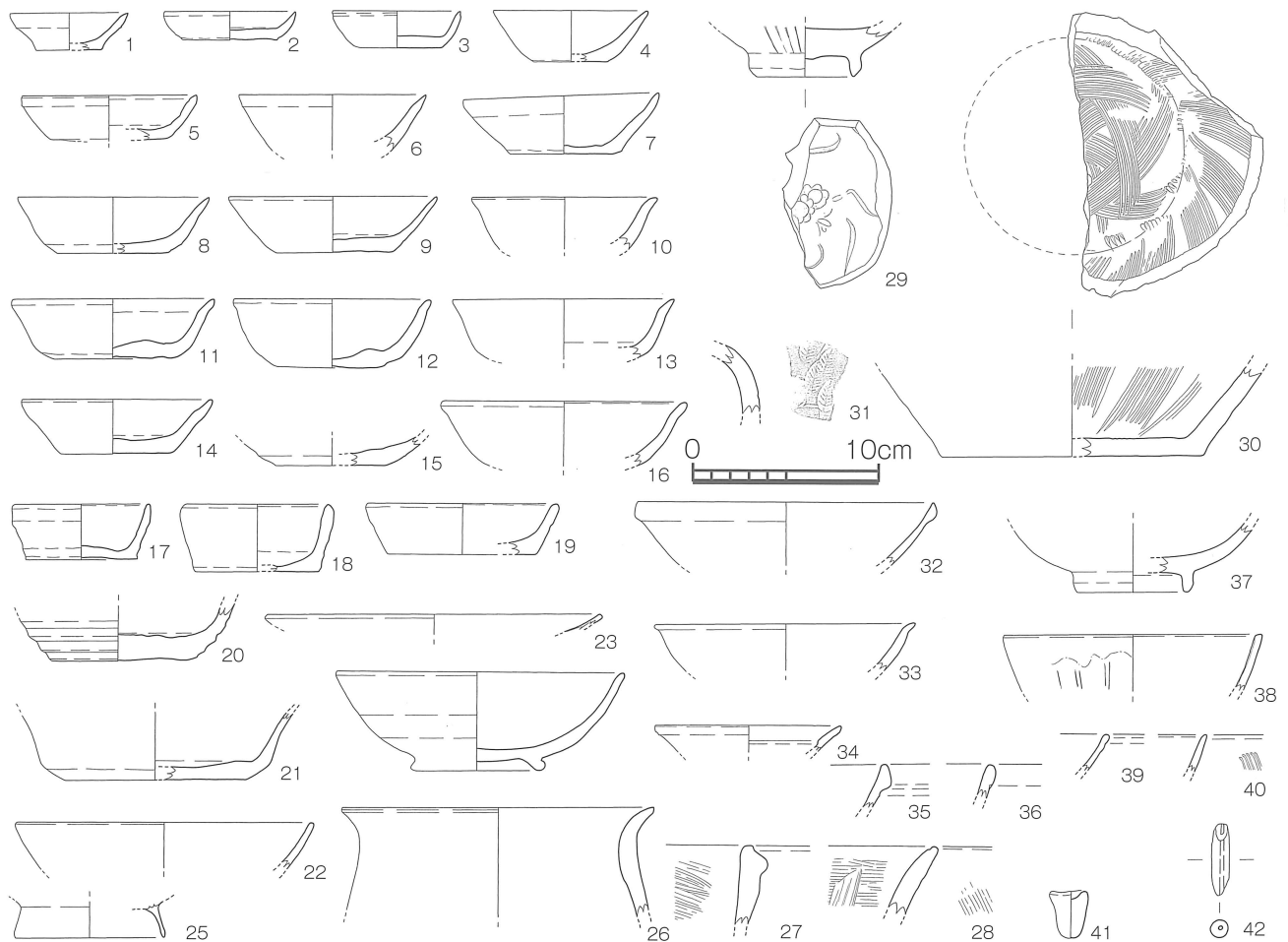
第29図 柿園遺跡 3号溝状遺構(SD-03)出土遺物実測図4〔1/4〕



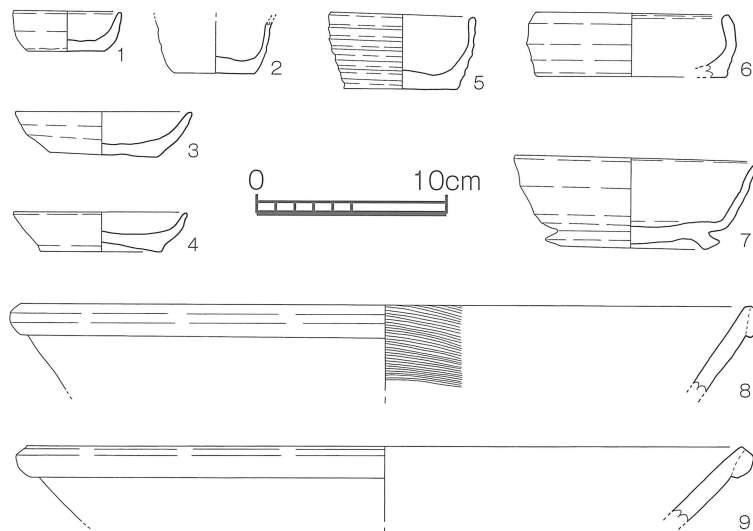
第 30 図 柿園遺跡 3号溝状遺構(SD-03)出土遺物実測図5〔1/4〕



第 31 図 柿園遺跡 1, 2, 3号不明遺構(SX-1, 2, 3)出土遺物実測図〔1/4〕

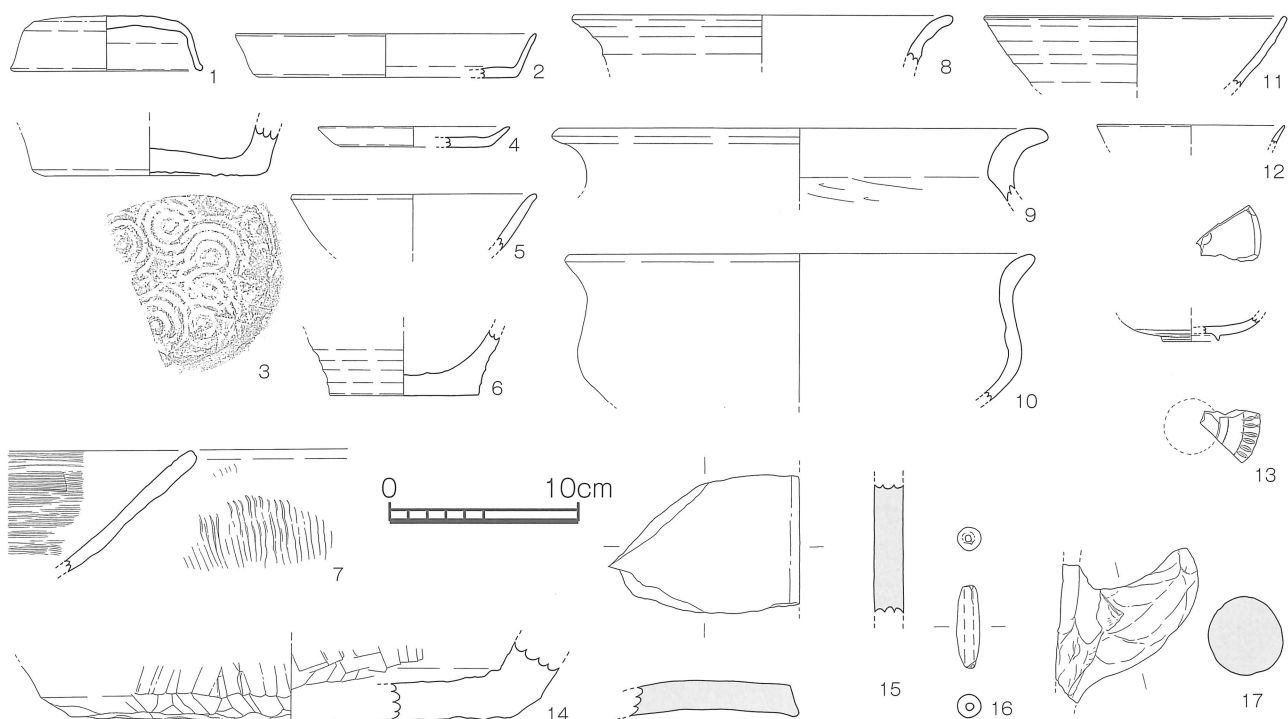


第 32 図 柿園遺跡 ピット出土遺物実測図〔1/4〕



第 33 図 柿園遺跡
トレンチ出土遺物実測図〔1/4〕

葉文のスタンプが付く。32・33・35・36 は白磁の細片。41 は調査時にミニチュア土器として取り上げられていたが不明。第 33 図は調査区の南西隅のトレンチ掘削時に出土した遺物で、2～6 は底径の割に口径が狭く、まっすぐ立ち上がるタイプの土師器で、7 は瓦器の椀、8・9 は鍋。第 34 図は表採された遺物で、1 は須恵器の坏蓋、3 は須恵器で底部に同心円状のタタキ目が施される。6 は鉢、14 は石鍋、15 は平瓦で、いぶしは施されていない。17 は甑の把手



第 34 図 柿園遺跡 表採遺物実測図〔1/4〕

(3)総括

3号溝状遺構に囲まれた内側（南側）と外側では、遺構の密度、遺物の量ともに大きな差があり、中世においてここになんらかの施設があった可能性が考えられるが、内側に見られる遺構はすべて不明瞭で、その性格はわからない。3号溝状遺構から出土した遺物は、この遺跡の中から出土した遺物の過半数を超え、その中の火舎や鍋などは、八女市黒木町の峯切山で採集された遺物の中に散見される。遺跡の時代は御輿休遺跡と同様、15～16世紀と考えられ、今後この地区における調査によって中世にこの一体を本拠としていた溝口氏との関連も明らかにされることが望まれるところである。

第1表 遺物観察表(1/4)

遺跡名	棟図・遺物 番号	整理 番号	遺構 番号	種類	器種	寸法			残存	胎土系地	色調	調整	備考
						口径 (復元口径)	底径 (復元底径)	器高 (復元器高)					
御興休	第9図1	R-008	P-02	土師器	皿か			残2.2	口縁部細片	赤色粒子が混ざる	0YR7/4にふい黄緑	ヨコナデ	
御興休	第9図2	R-015	SD-04	土師器	皿		4.9	残1.1	底部片		外:5YR7/6緑 内:YR6/6緑	外:ナデ、糸切り 内:ナデ	
御興休	第9図3	R-012	P-31	土師器	皿	(7.6)	(5.4)	2.1	1/3	赤色粒子が混ざる	YR6/6緑	外ヨコナデ、糸切り 内ヨコナデ、底部ナデ	
御興休	第9図4	R-010	P-19	土師器	皿	(12.2)		残2.1	口縁部片		外:5YR6/4にふい緑 内:0YR7/4にふい黄緑	ヨコナデ	
御興休	第9図5	R-003	P-11	土師器	皿	(11.6)	(8.4)	1.0	口縁部片		YR6/4にふい緑	外ヨコナデ、糸切り 内:ナデ	
御興休	第9図6	R-009	P-05	土師器	杯		(7.8)	残2.8	底部片	赤色粒子	外:5YR6/6緑 内:YR6/6緑	不明	
御興休	第9図7	R-017	SD-04 ②	土師器	坏		(9.0)	残2.0	底部片	赤色粒子が混ざる	外:5YR6/4にふい緑 内:0YR6/4にふい黄緑	外:ナデ、糸切り 内:ナデ	
御興休	第9図8	R-016	SD-04 ①	土師器	碗		(6.3)	残3.9	底部片	赤色粒子が混ざる	外:0YR5/3にふい黄緑 内:0YR7/3にふい黄緑	ナデ	
御興休	第9図9	R-018	表探	土師器	皿	(12.2)		残2.7	口縁部片	赤色粒子が混ざる	外:0YR6/4にふい黄緑 内:5YR6/4にふい緑	ヨコナデ	
御興休	第9図10	R-020	表探	土師器	皿	(9.8)	(8.0)	残1.5	1/8		0YR7/4にふい黄緑	外ヨコナデ、糸切り 内:ナデ	
御興休	第9図11	R-019	表探	瓦器	碗		(7.4)	残2.2	底部片		Y4/1灰		内面磨きがかかる。
御興休	第9図12	R-014	P-57	須恵器	坏	(18.0)		残2.0	口縁部細片		5Y5/1灰		
御興休	第9図13	R-001	P-10	瓦器	碗	(16.8)		残5.5	1/8		5Y5/1黄灰	ヨコナデ	
御興休	第9図14	R-002	P-11	瓦器	碗	(16.1)		残4.2	口縁部片		外:Y7/1灰白 内:Y8/1灰白	ナデ	
御興休	第9図15	R-011	P-07	瓦器	坏			残2.4	小片		外:0YR3/1黒褐 内:0YR3/1黒褐	ナデ	両面、磨きがかかる
御興休	第9図16	R-007	P-48	白磁	小片			残2.4	口縁部小片		5Y7/1灰白		
御興休	第9図17	R-006	SD-03 ②	白磁	細片			残2.2	口縁部細片		Y7/2灰白		
御興休	第9図18	R-005	P-48	土製品	土罐	長さ 3.9 残2.8	幅 1.4 残0.8	厚さ 1.4 残1.0	ほぼ完形		0YR6/3にふい黄緑		
御興休	第9図19	R-013	P-40	土製品	土罐			2/3		赤色粒子が混ざる	YR6/6緑		
御興休	第9図20	R-004	P-10	土製品	土罐	長さ 残2.0	幅 残0.9	厚さ 1.0	2/3		5Y4/1黄灰		
御興休	第9図21	R-022	表探	鉄製品	太釘?	長さ 7.7	幅 1.0	厚さ 0.5					
御興休	第9図22	R-023	SK-01	鉄製品	鉄鏃	長さ 残4.8	幅 残4.2	厚さ 0.3	7/8				
御興休	第9図23	R-021	P-45	青銅製品	不明	長さ 残2.2	幅 1.0	厚さ 1.0	不明				
柿園	第24図1	R-109	SB-01	土師器	甕	(32.0)		残12.1	口縁～体部上半		外:5YR5/4にふい緑 内:5YR5/3にふい緑	外:ハケメ 内:縦方向ナデ	
柿園	第24図2	R-147	SK-04	須恵器	壺				つまみ片		外:5gy5/1オリーブ灰 内:Y7/2灰白		つまみ径2.7cm
柿園	第24図3	R-146	SK-04	須恵器	坏	(14.2)		3.0	口縁部片		外:5Y5/1灰 内:0YR4/1褐灰	ヨコナデ	
柿園	第24図4	R-145	SK-04	土師器	坏			残2.5	口縁部片	細砂粒、赤色粒子を含む	YR6/6緑	ナデ	外部丹塗り
柿園	第24図5	R-140	SK-04	土師器	高坏	(22.4)		残3.1	坏部片		外:YR5/8明赤褐 内:5YR7/6緑	外:ナデ、ヘラ状器具による調整 内:ナデ	外部丹塗り
柿園	第24図6	R-142	SK-04	土師器	坏			残2.0	口縁部片	細砂粒を含む	外:0YR7/4にふい黄緑 内:5YR7/6緑	ヨコナデ	
柿園	第24図7	R-141	SK-04	土師器	坏	(20.2)		残2.8	口縁部片	砂粒、赤色粒子を含む	YR6/6緑	外:不明 内:ナデ	
柿園	第24図8	R-143	SK-04	土師器	碗	(18.2)		残4.8	口縁部片	細砂粒を含む	外:5YR5/3にふい褐 内:5YR6/6緑	外ヨコナデ、ヘラ調整 内:ナデ	
柿園	第24図9	R-144	SK-04	土師器	壺	(14.0)		残5.9	上半片	砂粒を含む	YR6/6緑	外:ハケ 内:ヘラ状器具による調整、口縁部ナデ	
柿園	第24図10	R-181	SK-05	土師器	皿	(8.0)		残1.5	1/8	砂粒、1～4mm次の小石が混ざる	YR6/6緑	ヨコナデ	
柿園	第24図11	R-180	SK-05	土師器	皿	(12.2)		残3.8	口縁部片	砂粒を含む(赤色粒子が混じる)	5YR6/6緑	ヨコナデ	
柿園	第24図12	R-182	SK-06	土師器	皿		(3.6)	残0.9	底部片	1～2mm次の小石が混ざる。砂粒・赤色粒子が混ざる	YR6/6緑	外:ナデ、底部糸切り 内:ナデ	
柿園	第24図13	R-184	SK-09	土師器	鉢			残3.5	口縁部片	1～3mm次の小石、砂粒を含む	外:5YR4/1褐灰 内:5YR6/6緑	外:ナデ 内:ハケメ	
柿園	第24図14	R-183	SK-09	土師器	鉢	(32.0)		残5.5	口縁部片	砂粒、赤色粒子を含む	外:0YR6/3にふい黄緑 内:5Y7/3黄灰	外:底減のため不明 内:櫛目?	
柿園	第24図15	R-179	SK-10	土師器	鉢、あるいは壺	(28.0)			口縁部片	砂粒、赤色粒子を含む	5Y4/1黄灰	外:ハケメ 内:横方向ハケメ	
柿園	第24図16	R-015	SK-11	青磁	碗			残3.0	底部片		0Y6/2オリーブ灰		釉薬は高台外側まで
柿園	第24図17	R-186	SK-11	白磁	碗か			残3.6	口縁部細片		5YR7/1明褐灰		
柿園	第24図18	R-187	SK-11	青磁	碗か			残1.7	口縁部細片		5Y6/3にふい黄	貫入が入る	青緑色の釉薬
柿園	第24図19	R-158	SK-12	土師器	皿	(10.2)		残2.7	口縁部片	砂粒を含む	0YR7/3にふい黄緑	ヨコナデ	
柿園	第24図20	R-185	SK-12	須恵器	碗		(8.4)	残2.8	底部片		外:5Y6/1灰 内:0Y6/1灰	外ヨコナデ 内:ナデ	高台付
柿園	第24図21	R-159	SK-12	土師器	甕あるいは鉢		(10.0)	残2.7	底部片	砂粒を含む	外:0YR7/3にふい黄緑 内:5Y7/2灰黄	外ヨコナデ、糸切り 内ヨコナデ	
柿園	第24図22	R-157	SK-12	青磁	皿	12.2		残2.3	口縁部片		外:5Y7/2灰白 内:5GY7/1明オリーブ灰		花卉彫り出し
柿園	第25図1	R-011	SD-01 5、トレンチ④⑤下層	土師器	坏		(9.8)	残1.0	底部片	赤色粒子が混ざる	外:5YR6/6緑 内:5YR7/6緑	外:ナデ、糸切り 内ヨコナデ	
柿園	第25図2	R-012	SD-01 トレンチ上層④⑤	白磁	白磁		4.0	残1.0	底部片		GY8/1灰白		
柿園	第25図3	R-014	SD-01 ②	青磁	碗	(6.2)		残2.6	底部片		Y6/3オリーブ黄		高台外側まで釉薬がかかる
柿園	第25図4	R-005	SD-02 ⑤	土師器	皿	(8.8)	(6.4)	2.4	1/3	赤色粒子が混ざる	外:0YR7/4にふい黄緑 内:5YR7/4にふい緑	外ヨコナデ、糸切り 内ヨコナデ	
柿園	第25図5	R-003	SD-02 ⑤	土師器	皿	(9.8)	(6.7)	2.8	2/3	1～3mm次の小石、赤色粒子が混ざる	外:5YR7/4にふい緑 内:0YR6/4にふい黄緑	外ヨコナデ、糸切り 内ヨコナデ	
柿園	第25図6	R-004	SD-02 ⑤	土師器	皿	(10.2)	(7.8)	1.0	1/6	赤色粒子が混ざる	5YR7/6緑	外ヨコナデ、糸切り 内ヨコナデ	
柿園	第25図7	R-010	SD-02	土師器	鍋あるいは鉢			残3.5	口縁部細片	石英を多く含む	外:0YR4/3にふい黄褐 内:0YR5/3にふい黄褐	ナデ	
柿園	第25図8	R-006	SD-02	土師器	坏	(14.2)		3.2	口縁部片	赤色粒子が混ざる	0YR7/4にふい黄緑	ヨコナデ	
柿園	第25図9	R-008	SD-02 ⑤	土師器	鉢、あるいは甕		(14.4)		底部片		外:5YR6/4にふい緑 内:5YR6/6緑	外:ナデ、底部糸切り 内:不明	
柿園	第26図1	R-092	SD-03 ⑤	土師器	皿	(5.9)	(3.6)	3.5	2/3	赤色粒子が混ざる	5YR6/6緑	外ヨコナデ、糸切り 内:ナデ	
柿園	第26図2	R-065	SD-03 ②	土師器	皿	(6.0)	4.6	(1.6)	2/3		外:0YR6/3にふい黄緑 内:0YR7/3にふい黄緑	外ヨコナデ、糸切り 内:ナデ	
柿園	第26図3	R-009	SD-03	土師器	皿		4.0	残1.1	底部片		外:5YR6/6緑 内:5YR7/6緑	外:ナデ、糸切り 内:ナデ	
柿園	第26図4	R-077	SD-03 ④	土師器	皿	5.5	4.0	1.7	ほぼ完形		5YR6/6緑	ヨコナデ、糸切り	
柿園	第26図5	R-067	SD-03 ②	土師器	皿	(5.7)	4.1	(1.7)	2/3		5YR7/6緑	外ヨコナデ、糸切り 内:ナデ	
柿園	第26図6	R-093	SD-03 ⑤	土師器	皿	(7.2)	(4.8)	1.6	1/3		5YR6/6緑	ヨコナデ、糸切り	
柿園	第26図7	R-102	SD-03 ⑧	土師器	皿	(7.8)	(5.8)	1.7	1/2		5YR6/6緑	外ヨコナデ、糸切り後ナデ 内:ナデ	
柿園	第26図8	R-106	SD-03 ⑤⑥間ベルト	土師器	皿	(8.0)	(6.0)	残1.7	1/2弱	赤色粒子が混ざる	0YR5/3にふい黄褐	ヨコナデ、糸切り	
柿園	第26図9	R-069	SD-03 ②	土師器	皿	(8.4)	(4.8)	1.7	1/3	赤色粒子が混ざる	5YR7/4にふい緑	外ヨコナデ、糸切り 内:ナデ	
柿園	第26図10	R-026	SD-03 ④⑤間ベルト	土師器	皿	(9.4)	7.1	2.1	1/3		外:0YR7/3にふい黄緑 内:0YR7/4にふい黄緑	外ヨコナデ、糸切り 内ヨコナデ	

第1表 遺物観察表(2/4)

遺跡名	棟号・遺物番号	整理番号	遺構番号	種類	器種	寸法			残存	胎土素地	色調	調整	備考
						口径 (復元口径)	底径 (復元底径)	器高 (復元器高)					
棟号	第26図11	R-055	SD-03 (5)	土師器	皿	(8.0)	(5.8)	(1.7)	1/2		外:5YR6/4にふい 内:5YR7/6	外ヨコナデ、糸切り 内ナデ	
棟号	第26図12	R-047	SD-03 (7)	土師器	皿		7.7	残1.2	底部片	赤色粒子が混ざる	外:0YR5/3にふい黄褐 内:0YR4/2灰黄褐	ナデ、糸切り	
棟号	第26図13	R-002	SD-03 (5)	土師器	皿	(8.0)	(6.6)	1.9	1/3	赤色粒子が混ざる	外:0YR6/4にふい黄褐 内:0YR7/4にふい黄褐	外ヨコナデ、糸切り 内ヨコナデ、底部ナデ	
棟号	第26図14	R-053	SD-03 (5)	土師器	皿	(9.9)	(6.0)	2.6	1/4		外:5YR6/4にふい 内:5YR7/6	外ヨコナデ、糸切り 内ヨコナデ	
棟号	第26図15	R-062	SD-03 (5)	土師器	皿	(10.0)	7.5	(2.5)	1/3	1~5mm大の小石が混ざる	5YR7/4にふい	外ヨコナデ、糸切り 内ヨコナデ	
棟号	第26図16	R-054	SD-03 (5)	土師器	皿	9.1	6.5	2.6	3/4	赤色粒子が混ざる	5YR7/4にふい	外ヨコナデ、糸切り 内ヨコナデ	
棟号	第26図17	R-068	SD-03 (2)	土師器	皿	(9.4)	(7.0)	2.0	1/7	赤色粒子が混ざる	5YR6/8	ヨコナデ底部不明	
棟号	第26図18	R-061	SD-03 (7)	土師器	皿	(9.8)	(6.0)	(2.0)	1/4	赤色粒子が混ざる	外:5YR6/4にふい 内:5YR7/6	外ヨコナデ、糸切り 内ヨコナデ	
棟号	第26図19	R-028	SD-03 (4)北側P1	土師器	皿		(7.4)	残1.2	底部片	赤色粒子が混ざる	5YR6/4にふい	外糸切り 内ナデ	
棟号	第26図20	R-001	SD-03 (5)	土師器	皿	(8.5)	(4.8)	2.4	1/3		5YR7/6	外ヨコナデ、糸切り 内ヨコナデ、底部ナデ	
棟号	第26図21	R-040	SD-03 (5)	土師器	皿	(9.2)	6.4	2.6	1/2	1~3mm大の小石が混ざる	外:5YR6/4にふい 内:5YR7/6	外ヨコナデ、糸切り 内ナデ	
棟号	第26図22	R-043	SD-03 (7)	土師器	皿	(9.5)	(7.0)	2.0	3/4	1~4mm大の小石が混ざる	0YR6/3淡黄褐	外ヨコナデ、糸切り 内ヨコナデ	
棟号	第26図23	R-024	SD-03 (4)5周ベルト	土師器	皿	(10.2)	(10.0)	(1.9)	1/5		5YR6/4にふい	外ヨコナデ、糸切り 内ヨコナデ	
棟号	第26図24	R-041	SD-03 (5)	土師器	皿	9.4	7.2	2.5	3/4	赤色粒子が混ざる	外:5YR7/4にふい 内:5YR7/6	外ヨコナデ、糸切り 内ヨコナデ	
棟号	第26図25	R-097	SD-03 (7)	土師器	皿	(9.8)	(6.6)	2.3	1/3	1~3mmの小石が混ざる	5YR6/4にふい	外ヨコナデ、糸切り 内ヨコナデ	
棟号	第26図26	R-019	SD-03 (6)	土師器	皿		5.9	残1.4	底部片	外:5YR6/4にふい 内:5YR7/6	外ナデ、糸切り 内ナデ		
棟号	第26図27	R-030	SD-03 (4)	土師器	皿	(9.4)	(6.7)	2.0	2/3	赤色粒子が混ざる	外:5YR6/8淡黄褐 内:0YR7/4にふい黄褐	外ヨコナデ、糸切り 内ヨコナデ	
棟号	第26図28	R-078	SD-03 (4)	土師器	皿	(10.2)		残2.2	口縁部片		5YR7/6	ヨコナデ	
棟号	第26図29	R-094	SD-03 (7)	土師器	皿	(8.6)		残2.4	口縁部片	赤色粒子が混ざる	5YR6/6	外ヨコナデ 内ナデ	
棟号	第26図30	R-064	SD-03 (4)	土師器	皿	(9.8)		残2.8	1/8	赤色粒子が混ざる	5YR6/6	ヨコナデ	
棟号	第26図31	R-036	SD-03 (4)	土師器	皿	(9.4)	4.4	4.0	1/2	赤色粒子が混ざる	外:5YR6/4にふい 内:5YR7/4にふい	外ヨコナデ、糸切り 内ヨコナデ	
棟号	第26図32	R-023	SD-03 (4)5周ベルト	土師器	皿	(10.8)	6.6	2.6	1/3	赤色粒子が混ざる	外:5YR6/4にふい 内:5YR7/4にふい	外ヨコナデ、糸切り 内底部ナデ	
棟号	第26図33	R-083	SD-03 (4)	土師器	皿	(11.2)		残3.0	1/8		5YR6/6	ヨコナデ	
棟号	第26図34	R-091	SD-03 (5)	瓦器	鉢あるいは杯	(8.8)		残1.7	底部片		5Y5/1黄灰	ヨコナデ、糸切り	
棟号	第26図35	R-042	SD-03 (7)	土師器	杯	(14.0)	(8.4)	3.0	1/4	赤色粒子が混ざる	外:5YR7/4にふい 内:0YR7/3にふい黄褐	外ヨコナデ、糸切り 内ヨコナデ	
棟号	第26図36	R-046	SD-03 (2)	土師器	杯あるいは鉢		7.8	残2.0	底部	赤色粒子を含む	5YR6/4にふい	外ナデ、糸切り 内ヨコナデ、ナデ	
棟号	第26図37	R-103	SD-03 (4)	土師器	杯	(16.0)		残2.3	口縁部片	1~5mm大の小石が混ざる	5Y8/2灰白	ヨコナデ	
棟号	第26図38	R-085	SD-03 (4)	土師器	杯	(12.2)		残3.2	1/8	1~3mm大の小石、赤色粒子が混ざる	5YR6/6	ヨコナデ	
棟号	第26図39	R-139	SD-03 (1)	土師器	杯	(15.4)	(8.6)	3.7	1/4		YR6/6	外ヨコナデ、底部不明 内ナデ	
棟号	第26図40	R-096	SD-03 (7)	土師器	杯	(12.0)		残2.2	口縁部片	2mm大の小石が混ざる	5YR6/4にふい	外ヨコナデ 内ナデ	
棟号	第26図41	R-088	SD-03 (7)	土師器	杯	(17.1)	(8.6)	3.7	1/3	赤色粒子が混ざる	YR6/8	外ヨコナデ、糸切り 内ヨコナデ	
棟号	第26図42	R-095	SD-03 (7)	土師器	杯	(8.2)		残2.6	1/8	赤色粒子が混ざる	5YR6/4にふい	外ヨコナデ 内ナデ	
棟号	第26図43	R-058	SD-03 (2)	瓦器	杯	(14.0)	(11.6)	(1.8)	1/8		5Y3/1黒褐	ヨコナデ	
棟号	第26図44	R-098	SD-03 (7)	土師器	皿	(9.0)	6.0	2.0	3/4	赤色粒子が混ざる	外:0YR8/2灰白 内:0YR8/3淡黄褐	外ナデ、糸切り 内ヨコナデ	
棟号	第26図45	R-099	SD-03 (7)	土師器	杯	(14.0)	3.7	(9.4)		赤色粒子が混ざる	0YR5/2灰黄褐	外ヨコナデ、糸切り 内ヨコナデ	
棟号	第26図46	R-101	SD-03 (7)	瓦器	椀			残2.7	口縁部細片		5Y6/1灰	ヨコナデ	両面共磨きがかかる
棟号	第26図47	R-104	SD-03 (8)	瓦器	椀	(14.0)		3.7	1/4		外:5Y5/1黄灰 内:5Y6/2灰黄	外ヨコナデ 内ナデ	高台付底
棟号	第26図48	R-086	SD-03 (4)	瓦器	椀		(6.2)	残2.7	底部片		外:5Y5/1黄灰 内:5Y3/1黒褐	外ヨコナデ 内ナデ	高台付
棟号	第26図49	R-079	SD-03 (4)	土師器	椀	(12.0)		残5.5	1/6	赤色粒子が混ざる	5YR6/6	外ナデ 内ヨコナデ	
棟号	第27図50	R-060	SD-03 (7)	土師器	杯	(20.0)		残4.6	口縁部片	赤色粒子が混ざる	外:0YR7/4にふい黄褐 内:0YR7/3にふい黄褐	ヨコナデ	
棟号	第27図51	R-066	SD-03 (2)	土師器	盃、あるいは鉢		(15.4)	残3.0	底部片	赤色粒子が混ざる	外:5YR7/4にふい 内:5YR7/6	外ナデ、糸切り 内ナデ	
棟号	第27図52	R-100	SD-03 (7)	鉢、あるいは盃						1~3mm大の小石が混ざる	5YR7/6	外ヨコナデ、糸切り 内ヨコナデ	
棟号	第27図53	R-056	SD-03 (2)	土師器	鉢、あるいは盃		12.6	残2.1	底部片		5YR6/4にふい	外ナデ、糸切り後ナデ 内ナデ	
棟号	第27図54	R-080	SD-03 (4)	瓦質土器	盃		(16.0)	残5.1	底部片		0YR5/4にふい黄褐	外ヨコナデ、底部ハケメ 内ナデ	
棟号	第27図55	R-090	SD-03 (4)5周ベルト	瓦器	盃、あるいは鍋	(27.2)		残3.9	口縁部片		外:Y5/1灰 内:Y6/2灰オリーブ	外ハケメ、口縁部付近ナデ 内横方向ハケメ	
棟号	第27図56	R-033	SD-03 (4)	土師器	鉢	(27.0)		残3.6	口縁部片	1~6mmの小石が混ざる	外:5Y4/2暗灰黄 内:5Y5/2暗灰黄	外ナデ 内横方向ハケメ	
棟号	第27図57	R-034	SD-03 (4)	土師器	鉢	(26.8)		残3.7	口縁部片	赤色粒子が混ざる	外:0YR7/4にふい黄褐 内:5YR7/6	外不明 内ハケメ	
棟号	第27図58	R-081	SD-03 (4)	土師器	盃、あるいは鍋	(23.4)		残6.6	口縁部片		外:0YR5/3にふい黄褐 内:0YR6/4にふい黄褐	外ハケメ、口縁部付近ヨコナデ 内横方向ハケメ	
棟号	第27図59	R-013	SD-04 (2)	瓦器	鉢			残5.1	口縁部片		外:Y6/1灰 内:Y4/1灰	ナデ	
棟号	第27図60	R-017	SD-03 (6)	土師器	鉢			残6.9	口縁部片	1~2mm大の小石が混ざる	外:5Y3/2黒褐 内:Y6/2灰オリーブ	外ハケメ 内横方向ハケメ	
棟号	第27図61	R-039	SD-03 (5)	土師器	鉢			残10.1	口縁部片	赤色粒子を含む	外:0YR4/2灰黄褐 内:0YR7/4にふい黄褐	外ハケメ後ヨコナデ 内口唇部付近横方向タタキ	
棟号	第27図62	R-035	SD-03 (4)	土師器	鉢	(32.0)		残8.8	口縁部片		外:0YR5/3にふい黄褐 内:5YR6/4にふい	外ハケメ後ナデ 内横方向ハケメ	
棟号	第27図63	R-044	SD-03 (7)	瓦器	盃	(34.4)		残4.5	口縁部細片	赤色粒子が混ざる	外:5Y4/1黄灰 内:0YR5/1暗灰	外ナデ 内ハケメ	
棟号	第27図64	R-082	SD-03 (4)	瓦質土器	盃			残7.6	口縁部細片	赤色粒子が混ざる	外:5YR6/6 内:5Y6/3にふい黄	外口縁部付近ヨコナデ、ナデ 内ナデ	
棟号	第27図65	R-071	SD-03	土師器	杯	8.7		残3.0	底部片		5YR6/6		脚は3本か
棟号	第27図66	R-022	SD-03 (4)5周ベルト	土師器	器台?		9.8	残8.7	底部片	赤色粒子が混ざる	外:5YR6/4にふい 内:5YR7/4にふい	ナデ	箱は高台外側まで、内部の字は「福」か
棟号	第27図67	R-087	SD-03 (6)	染付	椀		(4.8)	残1.8	底部片				
棟号	第27図68	R-051	SD-03 (4)	白磁	細片			残1.4	口縁部細片		5Y8/1灰白		
棟号	第27図69	R-016	SD-03 (2)	白磁	細片			残3.4	細片		Y7/2灰白		
棟号	第28図70	R-070	SD-03 (2)	土師器	鍋	(29.1)	(21.4)	5.5	口縁~底部の一部	1~4mm大の小石が混ざる	外:5YR6/4にふい 内:5YR6/6	外ナデ、底部はへら状器具で調整 内横方向ハケメ	
棟号	第28図71	R-057	SD-03 (2)	土師器	鍋、あるいは盃			残6.7	口縁部片	1~3mmの小石が混ざる	5YR7/4にふい	外口唇部ヨコナデ、底部ナデ 内横方向ハケメ	
棟号	第28図72	R-021	SD-03 (4)5周ベルト	土師器	鍋あるいは盃			残4.7	口縁部片	1~5mm大の小石が混ざる	5YR7/4にふい	外口唇部ヨコナデ 内不明	
棟号	第28図73	R-045	SD-03 (7)	土師器	鍋			残4.4	口縁部細片		外:0YR4/2灰黄褐 内:0YR7/4にふい黄褐	外口唇部ヨコナデ、ナデ 内ナデ	
棟号	第28図74	R-029	SD-03 (4)北側P1	土師器	鍋あるいは盃			残5.6	口縁部片	1~2mm大の小石を含む	外:Y2/1黒 内:5YR5/4にふい	外口唇部ヨコナデ、ナデ 内ヨコナデ	スス付着

第1表 遺物観察表(3/4)

遺跡名	棟号・遺物番号	整理番号	遺構番号	種類	器種	寸法			残存	胎土素地	色調	調整	備考
						口径 (復元口径)	底径 (復元底径)	高さ (復元高さ)					
柿園	第28図75	R-038	SD-03 (5)	土師器	鍋			残3.6	口縁部細片	1~5mm大の小石が混ざる	外:0YR3/1黒褐 内:0YR6/4にふい貴橙	外ヨコナデ 内ナデ	
柿園	第28図76	R-072	SD-03 (2)	土師器	釜	(40.0)		残5.9	口縁部片	赤色砂粒が混じる	外:5YR7/6橙 内:0YR7/6明貴橙	外:指圧痕有、ハケ目 内:ハケ目	
柿園	第28図77	R-050	SD-03 (2)	土師器	釜	(40.0)		(7.7)	1/8	1~6mmの小石が混ざる	外:Y5/1灰 内:0YR7/4にふい貴橙	外:口唇部ヨコナデ、体部ハケ目、底部不明 内:ヨコナデ、底部ハケ目	
柿園	第28図78	R-073	SD-03 (2)	土師器	釜	(37.4)		残7.8	口縁部片	1~3mmの小石が混じる	外:0YR7/4にふい貴橙 内:0YR6/4淡貴橙	外:指圧痕有、ハケ目 内:ハケ目	
柿園	第28図79	R-049	SD-03 (2)	土師器	釜			残5.5	口縁部細片	1~3mm大の小石が混ざる	0YR7/6明貴橙	外:口唇部ヨコナデ、体部ハケ目、指圧痕あり 内:ハケ目	
柿園	第28図80	R-048	SD-03 (2)	土師器	釜			残5.5	口縁部細片		0YR6/4にふい貴橙	外:口唇部付近ヨコナデ 内:ハケ目	
柿園	第28図81	R-025	SD-03 (2)④開ベルト	瓦器	鍋、あるいは鉢			残3.1	口縁部小片		外:0YR6/2灰貴橙 内:5Y6/3にふい貴	ヨコナデ	
柿園	第28図82	R-027	SD-03 (2)⑤開ベルト	土師器	鉢、あるいは鍋			残4.1	口縁部片	2mm大の小石が混ざる	外:0YR3/1黒褐 内:0YR6/4にふい貴橙	外:口唇部ヨコナデ、ナデ 内:ヨコナデ	スス付着
柿園	第29図83	R-074	SD-03 (2)	土師器	羽釜、あるいは鍋	(22.0)		残4.9	胴部片		5YR6/4にふい橙	ナデ	穿孔有、羽部全体を 通らず鍋の可能性
柿園	第29図84	R-105	SD-03 (5)⑥	土師器	羽釜			残7.9	胴部片	赤色粒子が混ざる	5YR6/6橙	外:ハケ目のちナデ、羽部上部付け根に指圧痕 内:ハケ目のちナデ	
柿園	第29図85	R-018	SD-03 (6)	土師器	羽釜	30.2		残7.8	胴部片	1~5mm大の小石が混ざる	外:0YR6/2灰貴橙 内:5Y7/3淡貴	外:ハケ目 内:横方向のハケ目	
柿園	第29図86	R-063	SD-03 (2)	土師器	羽釜			残5.1	胴部片	1~4mm大の小石が混じる	5YR6/3淡貴	外:羽部横方向、胴部横方向のハケ目 内:横方向のハケ目、指圧痕あり	
柿園	第29図87	R-089	SD-03 (4)	土師器	鍋	(30.8)		残4.5	把手部片	赤色粒子が混ざる	5YR6/3にふい橙	外:ハケ目 内:横方向のハケ目	把手上部に2カ所の 穿孔
柿園	第29図88	R-007	SD-03 (5)	土師器	鍋	30.2		残3.0	把手部片				把手上部に2カ所の 穿孔
柿園	第29図89	R-037	SD-03 (4)	土師器	火舎、あるいは火鉢	(34.8)		残11.0	胴部片	1~5mm大の小石が混ざる	外:5YR6/3にふい褐 内:YR5/4にふい赤褐	外:ヨコナデ 内:ハケ目、指圧痕有	スタンプ有
柿園	第29図90	R-052	SD-03 (5)	土師器	火舎		(28.6)	残7.1	胴部片	赤色粒子を含む	外:YR4/6赤褐 内:YR5/6明赤褐		スタンプ有
柿園	第29図91	R-250	SD-03 (5)下層	土師器	火舎			残7.2	胴部片		5YR7/4にふい橙	ナデ	スタンプ有、胴部は4 開か
柿園	第29図92	R-020	SD-03 (2)	瓦器	火鉢	(28.0)		残6.6	口縁部片		外:0YR5/2灰貴橙 内:0YR4/2灰貴橙	外:ハケ目後ヨコナデ 内:横方向ハケ目	
柿園	第29図93	R-064	SD-03 (2)	瓦器	火鉢		(20.0)	残7.2	底部片	赤色粒子が混ざる	外:0YR5/2灰貴橙 内:5Y5/2暗灰貴	外:ヨコナデ 内:ハケ目後ナデ	
柿園	第30図94	R-032	SD-03 (2)④開ベルト	瓦	丸瓦	長さ 残14.0	幅 残6.8	厚さ 1.6	小片		5Y3/2オリーブ黒	布目痕?	
柿園	第30図95	R-108	SD-03 (4)	瓦	丸瓦	長さ 残12.0	幅 残8.0	厚さ 1.8	小片		外:5YR6/4にふい橙 内:5YR7/6橙	布目痕	
柿園	第30図96	R-107	SD-03 (4)	瓦	丸瓦	長さ 残6.4	幅 残6.1	厚さ 2.8	細片		5YR7/6橙		
柿園	第30図97	R-075	SD-03 (2)	瓦	丸瓦	長さ 残10.7	幅 残8.6	厚さ 2.0	小片		5Y3/2オリーブ黒	布目痕?	
柿園	第30図98	R-076	SD-03 (3)	瓦	平瓦	長さ 残18.8	幅 残6.4	厚さ 1.8	小片		外:5YR7/8貴橙 内:YR6/6橙	ハケ目、指圧痕	
柿園	第30図99	R-031	SD-03 (2)	瓦	平瓦	長さ 残13.7	幅 残10.2	厚さ 1.6	小片		外:5Y7/3淡貴 内:0YR7/4にふい貴橙		
柿園	第31図1	R-122	SX-01 西側	土師器	皿	(9.0)	(6.4)	残2.4	1/3		外:0YR7/3にふい貴橙 内:0YR7/2にふい貴橙	外:ヨコナデ、糸切り 内:不明	
柿園	第31図2	R-111	SX-01 東側	土師器	杯	(14.0)		残2.9	1/10		5YR6/6橙	ヨコナデ	
柿園	第31図3	R-112	SX-01 東側	土師器	皿	(12.0)		残2.6	1/6		外:5YR6/6橙 内:0YR7/4にふい貴橙	ヨコナデ	
柿園	第31図4	R-121	SX-01 西側	土師器	皿	(9.8)	(8.2)	残1.0	1/6	赤色粒子を含む	外:YR6/6橙 内:0YR6/4にふい貴橙	外:ヨコナデ、糸切り 内:ナデ	
柿園	第31図5	R-117	SX-01 東側	瓦器	杯	(16.0)		残3.5	口縁部片		5Y3/1黒褐		内外面磨きがかか る
柿園	第31図6	R-120	SX-01 西側	土師器	杯	(18.0)		残3.5	口縁部片		YR6/6橙	ヨコナデ	
柿園	第31図7	R-113	SX-01 東側	土師器	杯	(14.6)		残3.1	小片		外:5YR7/6橙 内:5YR6/6橙	ヨコナデ	
柿園	第31図8	R-115	SX-01 東側	土師器	皿	(12.0)		残2.8	1/8		外:YR6/6橙 内:0YR7/4にふい貴橙	ナデ	外面丹塗
柿園	第31図9	R-114	SX-01 東側	土師器	葉	(18.4)		残2.4	口縁部片	赤色粒子を含む	外:0YR7/3にふい貴橙 内:5YR6/4にふい橙	ヨコナデ	
柿園	第31図10	R-116	SX-01 東側	土師器	鍋、あるいは鉢			残4.1	口縁部片		外:0YR4/2灰貴橙 内:0YR5/3にふい貴橙	外:ナデ、口唇部ヨコナデ 内:ハケ目	
柿園	第31図11	R-119	SX-01	白磁	椀	(18.0)		残4.3	口縁部片		Y7/2灰白		暗灰色の釉薬
柿園	第31図12	R-118	SX-01 中央部分	青磁	椀	(14.0)		残5.2	口縁部片		5GY7/1明オリーブ灰		蓮花紋
柿園	第31図13	R-126	SX-01	青磁	椀		6.6	残3.4	底部辺		外:Y5/2灰オリーブ 内:Y5/3灰オリーブ	底部中心を残して釉をき取る	
柿園	第31図14	R-123	SX-02	土師器	皿	(6.2)	(3.2)	残2.0	1/2		0YR7/3にふい貴橙	外:ヨコナデ、糸切りのちナデ 内:ナデ	
柿園	第31図15	R-128	SX-02	土師器	皿	6.6	4.7	残1.8	2/3		5YR7/4にふい橙	外:ヨコナデ、糸切り 内:ヨコナデ	
柿園	第31図16	R-124	SX-02	土師器	皿	(6.2)	(3.1)	残2.0	1/3		外:0YR5/2灰貴橙 内:0YR6/3にふい貴橙	外:ヨコナデ、糸切り後ナデ 内:ナデ	
柿園	第31図17	R-130	SX-02	土師器	皿	8.8	6.5	2.0	3/4		外:0YR7/2にふい貴橙 内:0YR6/2灰貴橙	外:ヨコナデ、糸切り 内:ヨコナデ	
柿園	第31図18	R-129	SX-02	土師器	皿	(9.8)	5.7	残2.8	2/3		外:0YR6/3にふい貴橙 内:5YR7/4にふい橙	外:ヘラケズリのちヨコナデ、糸切り 内:ヨコナデ	
柿園	第31図19	R-132	SX-02	土師器	脚付碗	(18.6)		6.4	小片		0YR6/3にふい貴橙	ヨコナデ	
柿園	第31図20	R-131	SX-02	土師器	鍋、あるいは鉢	(25.7)	(16.6)	残5.4	1/8		0YR6/2灰貴橙	ヨコナデ	
柿園	第31図21	R-127	SX-02	土師器	鍋	(40.2)		残5.0	口縁部片	1~5mm大の小石が混ざる	外:0YR7/3にふい貴橙 内:0YR7/4にふい貴橙	外:ナデ、口唇部ヨコナデ 内:横方向ハケ目	
柿園	第31図22	R-134	SX-02	青磁	椀	(16.0)		残1.7	口縁部片		5Y5/2灰オリーブ		灰緑色の透明釉
柿園	第31図23	R-133	SX-02	白磁	椀	(13.8)		残1.3	口縁部片		5Y7/2灰白		淡緑色の釉がかか る
柿園	第31図24	R-136	SX-02	染付	椀	(12.0)		残2.8	口縁部片		外:0Y7/1灰白 内:5GY7/1明オリーブ灰		
柿園	第31図25	R-135	SX-02	白磁	椀	(12.0)		残2.8	口縁部片		外:5GY8/1灰白 内:GY8/1灰白		淡緑色の釉がかか る
柿園	第31図26	R-125	SX-02	土製品	土鍾	長さ 5.7	幅 1.2	厚さ 1.2	完形		5Y6/2灰貴		
柿園	第31図27	R-110	SX-03	土師器	皿	(7.8)	(5.4)	1.9	公圖を欠く		5YR6/4にふい橙	ヨコナデ、糸切り	
柿園	第31図28	R-138	SX-03	土師器	杯	(18.0)		残4.2	口縁部片	砂粒を含む	外:0YR4/2灰貴橙 内:0YR3/2黒褐	外:ヘラケズリ 内:ヨコナデ	
柿園	第31図29	R-137	SX-03	土師器	杯	(20.0)	(13.0)	残4.8	1/4	砂粒を含む	5YR6/4にふい橙	外:ヘラケズリ、糸切り 内:ナデ	
柿園	第32図1	R-194	P-74	土師器	皿	(6.4)	(3.6)	2.0	1/3	細砂粒を含む	0YR7/4にふい貴橙	ヨコナデ	
柿園	第32図2	R-217	P-131	土師器	皿	(7.1)	(5.0)	残1.6	1/2	砂粒を含む	YR6/6橙	外:ヨコナデ、糸切り 内:ヨコナデ、底部ナデ	
柿園	第32図3	R-212	P-134	土師器	皿	(6.9)	4.3	2.0	3/4	赤色粒子を含む	5YR6/4にふい橙	ヨコナデ、糸切り	
柿園	第32図4	R-195	P-53	土師器	皿	(8.4)	(4.0)	2.7	1/5	細砂粒を含む、赤色粒子が混じる	5YR6/4にふい橙	ヨコナデ、底部糸切り	
柿園	第32図5	R-214	P-78	土師器	皿	(9.4)	(6.2)	残2.4	1/5	赤色粒子が混ざる	YR7/6橙	ヨコナデ、糸切り	
柿園	第32図6	R-220	P-142	土師器	皿	(10.0)		残3.0	口縁部片	砂粒を含む	5YR5/3にふい褐	ヨコナデ	
柿園	第32図7	R-209	P-38	土師器	皿	10.6	6.1	3.1	口縁一部欠く	1~6mmの小石が混ざる	5YR7/4にふい橙	外:ヨコナデ、底部糸切り 内:ヨコナデ	
柿園	第32図8	R-196	P-53	土師器	皿	(10.4)	(6.0)	残3.0	1/4	砂粒を含む	YR6/4にふい橙	ナデ、底部不明	
柿園	第32図9	R-211	P-65	土師器	皿	(11.2)	(6.0)	3.0	1/2	赤色粒子が混ざる	YR7/6橙	ヨコナデ、糸切り	
柿園	第32図10	R-198	P-143	土師器	皿	(10.0)		残2.8	口縁部片	砂粒、赤色粒子を含む	5YR6/6橙	ヨコナデ	

第1表 遺物観察表 (4/4)

遺跡名	検出・遺物 番号	整理 番号	遺構 番号	種類	器種	寸法			残存	胎土素地	色調	調整	備考
						口径 (復元口径)	底径 (復元底径)	器高 (復元器高)					
柿園	第32図11	R-213	P-116	土師器	皿	(11.0)	(6.3)	3.2	1/3	赤色粒子を含む	YR6/6橙	ヨコナデ、糸切り	
柿園	第32図12	R-210	P-54	土師器	皿	(10.6)	5.9	3.7	2/3	赤色粒子が混ざる	YR6/6橙	ナデ、底部糸切り	
柿園	第32図13	R-224	P-223	土師器	皿	(12.0)		残3.2	口縁部片	砂粒を含む	YR7/6橙	ヨコナデ	
柿園	第32図14	R-215	P-120	土師器	皿	(10.3)	6.0	2.9	1/2	砂粒を含む	外:0YR5/2灰黄褐 内:5YR6/3にふい橙	ヨコナデ、糸切り	
柿園	第32図15	R-192	P-12	須恵器	坏		(6.0)		底部	小石が多く混ざる	外:Y5/2灰オリーブ 内:Y5/2灰オリーブ	ヘラケズリ、底部ナデ	
柿園	第32図16	R-221	P-172	土師器	皿	(13.2)		残3.5	口縁部片	砂粒、赤色粒子を含む	外:YR6/6橙 内:5YR6/6橙	ヨコナデ	
柿園	第32図17	R-197	P-82	土師器	皿	(7.5)	(6.0)	3.0	1/2	砂粒を含む	5YR7/3にふい橙	外:ヨコナデ、糸切り 内:ヨコナデ、底部回転ナデ	
柿園	第32図18	R-216	P-216	土師器	坏	(7.6)	(6.6)	3.6	1/2	砂粒を含む	5YR6/4にふい橙	ヨコナデ、糸切り	
柿園	第32図19	R-193	P-85	土師器	皿	(10.4)	(8.0)	2.7	1/7	砂粒を含む	YR6/6橙	ヨコナデ、糸切り	
柿園	第32図20	R-227	P-183	土師器	鉢		(7.3)	残3.0	底部片	砂粒を含む	5YR7/4にふい橙	ヨコナデ、糸切り	
柿園	第32図21	R-191	P-93	土師器	坏		(9.8)	残3.6	底部片	砂粒を含む、赤色粒子を含む	YR6/6橙	ヨコナデ、糸切り	
柿園	第32図22	R-208	P-288	瓦器	椀	(16.1)			口縁部片	細砂粒を含む	外:5Y6/1灰 内:5Y7/2灰黄	ヨコナデ	
柿園	第32図23	R-204	P-119	土師器	坏	(18.2)		残1.1	口縁部片	細砂粒を含む	外:5YR7/4にふい橙 内:YR7/6橙	ヨコナデ	
柿園	第32図24	R-189	P-17	瓦器	椀	(15.6)	6.8	5.3	2/3	細砂粒を含む	0YR1.7/1黒	外:ヘラケズリ、底きがかかる 内:ナデ	
柿園	第32図25	R-188	P-07	土師器	碗		(8.0)		高台	細砂粒を含む	外:YR7/8橙 内:5YR7/6橙	ヨコナデ	
柿園	第32図26	R-161	P-13	土師器	甕か	(16.8)		残5.9	上半片	砂粒を含む	外:5YR5/3にふい橙 内:5YR6/4にふい橙	摩滅のため不明	
柿園	第32図27	R-202	P-71	土師器	鉢、あるいは盥			残4.2	口縁部片	赤色粒子が混ざる	5YR6/6橙	外:ナデ 内:ハケメ	
柿園	第32図28	R-160	P-13	土師器	甕か			残3.7	口縁部	砂粒を含む	外:5YR6/4にふい橙 内:5YR5/4にふい橙	外:ハケメ、口縁ヨコナデ 内:ハケメ	
柿園	第32図29	R-207	P-178	青磁	椀		(5.3)	残2.7	底部片		0Y6/2オリーブ灰		釉薬は高台内側まで
柿園	第32図30	R-206	P-199	瓦器	摺鉢		(14.0)	残4.9	底部片	1～5mm大の小石が混ざる	Y5/1灰	ヘラケズリ	
柿園	第32図31	R-205	P-119	土師器	釜か			残3.4	肩部か		0YR4/2灰黄褐	ヨコナデ	黒文のスタンプがつく
柿園	第32図32	R-200	P-62	白磁	椀	(16.0)		残3.4	口縁部片		Y7/2灰白	貫入有	玉口縁
柿園	第32図33	R-199	P-216	白磁	椀	(14.1)		残2.5	口縁部片			貫入有	
柿園	第32図34	R-218	P-140	青磁	皿	(10.1)		残1.4	口縁部片	赤色粒子を含む	5Y6/2灰オリーブ	ヨコナデ、糸切り	緑色がかつた釉薬がのる
柿園	第32図35	R-222	P-189	白磁	椀				口縁部細片		5YR/4淡黄	貫入有	玉口縁
柿園	第32図36	R-201	P-233	白磁	椀				口縁部細片		5Y7/1灰白		
柿園	第32図37	R-226	P-232	青磁	椀	(6.0)		残3.7	底部片		0Y6/2オリーブ灰		釉薬高台外側まで
柿園	第32図38	R-219	P-144	青磁	椀	(14.0)		残3.0	口縁部片		0Y7/1灰白		灰青緑色の釉薬がのる
柿園	第32図39	R-223	P-241	白磁	椀			残2.0	口縁部片		Y7/3淡黄	内外共貫入有	くすんだ灰緑色の釉薬
柿園	第32図40	R-203	P-105	青磁	椀			残1.9	口縁部小片		Y6/3オリーブ黄	内外共貫入有	
柿園	第32図41	R-190	P-72	手づくね土器				2.5	完形			不明	
柿園	第32図42	R-225	P-196	土器	土埴	長さ 3.9	幅 0.9	厚さ 1.0	上下欠損	砂粒、赤色粒子を含む	5YR6/6橙		
柿園	第33図1	R-150	トレンチ ⑩	土師器	皿	(5.8)	(4.0)	2.0	1/3		5YR6/4にふい橙	外:ヨコナデ、糸切り 内:ヨコナデ	
柿園	第33図2	R-148	トレンチ ⑩	土師器	坏		(4.4)	残2.8	底部片	砂粒、赤色粒子が残る	外:0YR8/2灰白 内:0YR8/4淡黄褐	外:ヨコナデ、糸切り 内:ヨコナデ、ナデ	
柿園	第33図3	R-149	トレンチ ⑩	土師器	皿	8.3	(5.6)	2.3	2/3	砂粒を含む	5YR7/4にふい橙	外:ヨコナデ、糸切り 内:ヨコナデ	
柿園	第33図4	R-151	トレンチ ⑩	土師器	皿	9.2	6.4	2.1	口縁一部欠く	砂粒を含む	5Y7/3淡黄	外:ヨコナデ、糸切り 内:ヨコナデ	
柿園	第33図5	R-155	トレンチ ⑩	土師器	坏	(7.8)	3.9	6.0	3/4	砂粒を含む	外:5Y7/3淡黄 内:5Y5/3黄褐	外:ヨコナデ、糸切り 内:ヨコナデ	
柿園	第33図6	R-152	トレンチ ⑩	土師器	坏	(10.2)	(10.0)	3.3	1/10		0YR6/3にふい黄橙	外:ヨコナデ、糸切り 内:ヨコナデ	
柿園	第33図7	R-156	トレンチ ⑩	瓦器	椀	(12.9)	9.2	4.7	1/2	1～2mmの小石が混じる	外:3/0暗灰 内:5/0灰	内外共貫入有	高台貼付
柿園	第33図8	R-154	トレンチ ⑩	土師器	鍋	(39.8)		残4.5	口縁部片	石英を多く含む	0YR8/6黄橙	外:口唇部ヨコナデ 内:横方向のハケメ	
柿園	第33図9	R-153	トレンチ ⑩	土師器	鍋あるいは盥	(39.0)		残4.0	口縁部片	石英を多く含む	外:0YR4/2灰黄褐 内:0YR5/2灰黄褐	外:口唇部ヨコナデ、体部ヘラ状器具による調整 内:ヨコナデ	
柿園	第34図1	R-171	表探	須恵器	坏蓋	(10.2)		2.9	1/2	1～3mm大の小石が多く混じる	外:5Y6/1灰 内:5Y6/2灰黄	ヘラケズリ、ヨコナデ	
柿園	第34図2	R-170	表探	瓦器	椀	(16.0)	(13.6)	2.3	1/8	1～2mm大の小石が混ざる、砂粒を含む	外:5Y4/1灰 内:5Y7/4淡黄	不明	
柿園	第34図3	R-174	表探	須恵器	鉢、あるいは盥		(12.4)	残2.5	底部片		外:0YR4/3にふい黄褐 内:5Y5/1黄灰	外:ヘラケズリ、底部に同心円状のタタキ目 内:ヨコナデ	
柿園	第34図4	R-173	表探 西側	土師器	皿	(10.2)	(7.6)	残1.1	1/8	砂粒を含む	YR5/4にふい黄褐	外:ヨコナデ、糸切り 内:ヨコナデ	
柿園	第34図5	R-177	表探 東側下層	土師器	皿	(13.0)		残2.9	口縁部片	砂粒、赤色粒子を含む	外:5YR6/6淡黄橙 内:YR7/6橙	ヨコナデ	
柿園	第34図6	R-168	表探 南東側	甕、あるいは鉢		(7.8)		残3.4	底部片	砂粒、赤色粒子を含む	5YR6/6橙	ヘラケズリ、ヨコナデ、糸切り	
柿園	第34図7	R-175	表探	土師器	盥			残6.3	口縁部小片	1～3mm大の小石が混じる	外:5YR7/8黄橙 内:5YR8/6黄橙	外:目の粗い縦方向のハケメ 内:目の細かい横方向のハケメ	
柿園	第34図8	R-178	表探 東側下層	土師器	甕または盥の口縁	(20.2)		残2.5	口縁部片	砂粒、赤色粒子を含む	5YR6/4にふい橙	ヨコナデ	
柿園	第34図9	R-172	表探	土師器		(26.3)		残3.8	口縁部片	1～3mm	0YR7/3にふい黄橙	外:ヨコナデ 内:胴部内側ヘラ状器具による調整	
柿園	第34図10	R-164	表探	土師器	鉢	(25.0)		残7.8	口縁部～体部片	砂粒を含む	外:5YR5/3にふい橙 内:YR5/4にふい黄褐	ヨコナデ	
柿園	第34図11	R-162	表探	白磁	椀	(6.1)		残3.7	口縁部片		5Y7/2灰白	ヨコナデ	
柿園	第34図12	R-163	表探	白磁	椀	(10.0)		残1.0	口縁部細片		GY8/1灰白		
柿園	第34図13	R-166	表探	染付	椀		(3.0)	残1.3	底部片		0Y8/1灰白	内外共貫入有	釉薬は底部まで
柿園	第34図14	R-167	表探	石製品	石鍋	(23.5)		残4.2	底部	滑石			
柿園	第34図15	R-169	表探	瓦	平瓦	長さ 10.0	幅 7.2	厚さ 1.5	小片		0YR7/4にふい黄橙		
柿園	第34図16	R-165	表探	土器	土埴	長さ 4.4	幅 1.3	厚さ 1.3	ほぼ完形	細砂粒を含む	5YR6/4にふい橙		
柿園	第34図17	R-176	表探 北側	土師器	甕				把手		5YR6/6橙	外:ナデ 内:不明	
柿園	第図												
柿園	第図												
柿園	第図												

図版

図版 1



1. 御輿休遺跡全景 南から



2. 御輿休遺跡遺跡南西側北西から



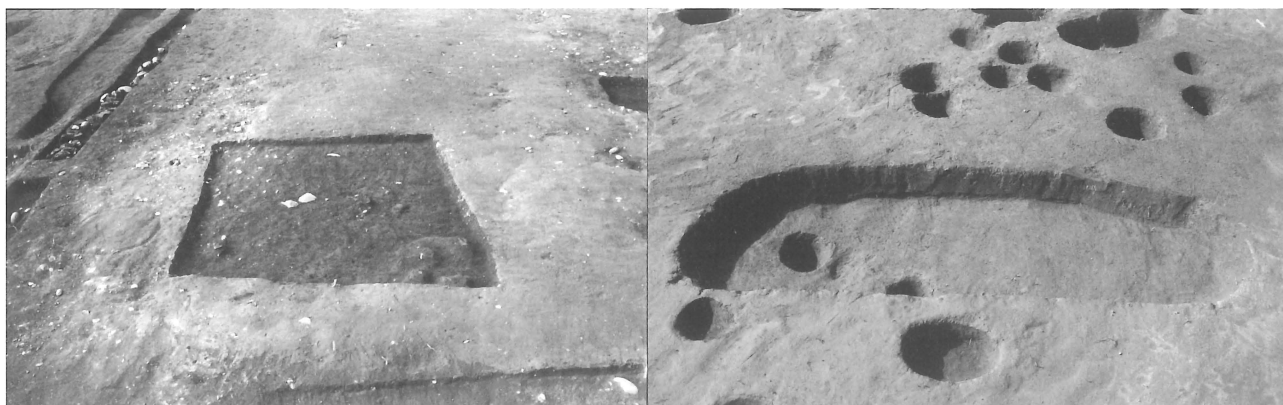
3. 御輿休遺跡 2号溝状遺構 1号,2号土坑 4. 御輿休遺跡 4号溝状遺構南西から



1. 柿園遺跡全景 西から



2. 柿園遺跡全景 南から



3. 柿園遺跡 1号竪穴住居南東から

4. 柿園遺跡 10号土坑



1. 柿園遺跡 3号溝状遺構



2. 柿園遺跡 3号溝状遺構



3. 柿園遺跡 3号溝状遺構



4. 柿園遺跡 3号溝状遺構



5. 柿園遺跡 12号土坑、北東から



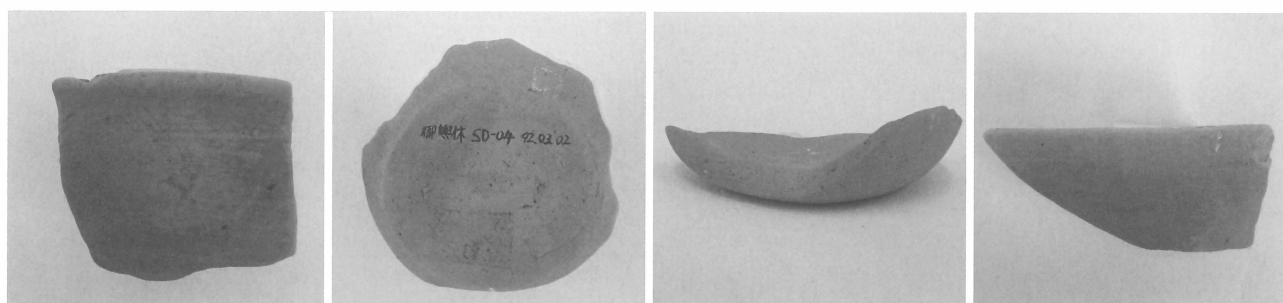
6. 柿園遺跡 12号土坑遺物出土状況



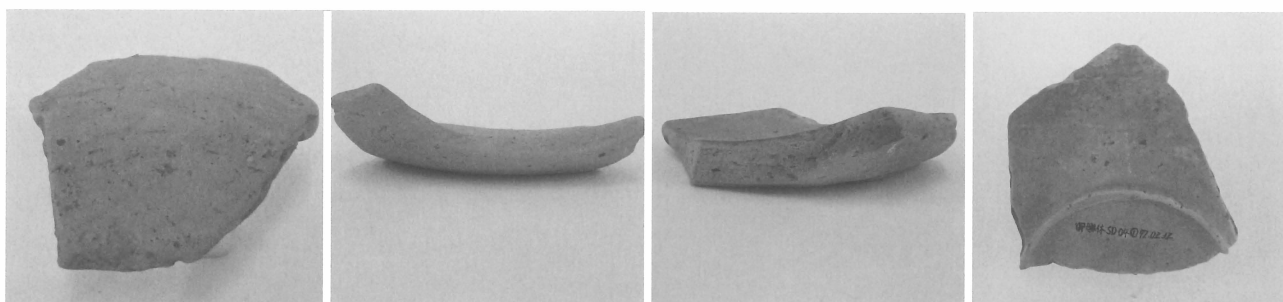
7. 柿園遺跡 3号不明遺構



8. 柿園遺跡 トレンチ④ (A区)



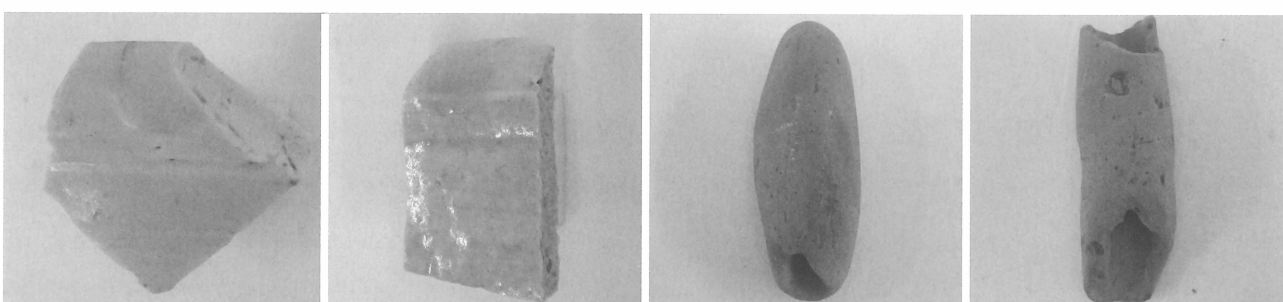
1. P-02 9图1 2. SD-04 9图2 3. P-31 9图3 4. P-19 9图4



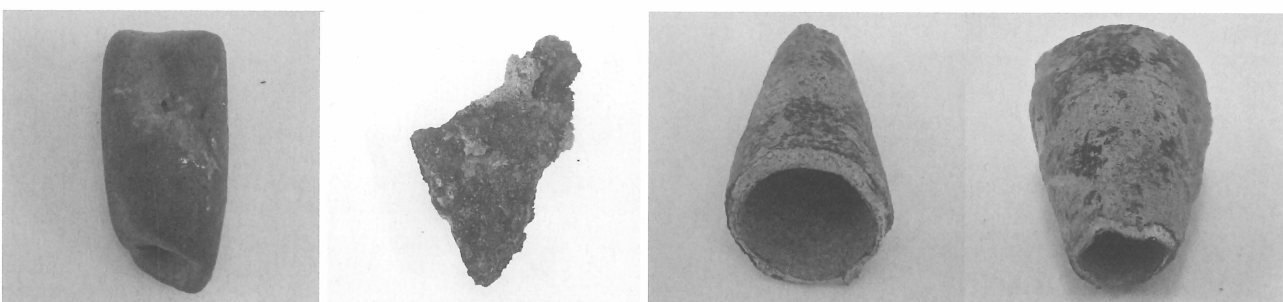
5. P-11 9图5 6. P-05 9图6 7. SD-04 9图7 8. SD-04 9图8



9. 表採 9图9 10. 表採 9图10 11. 表採 9图11 12. P-11 9图14

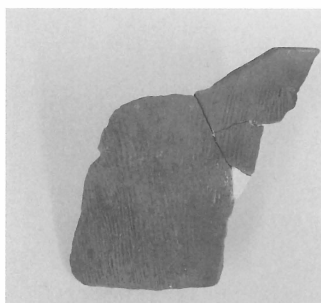


13. P-48 9图16 14. SD-03 9图17 15. P-48 9图18 16. P-40 9图19



17. P-10 9图20 18. SK-01 9图22 19. P-45 9图23

图版 5



1. SB-01

24 图 1



2. SK-04

24 图 2



3. SK-04

24 图 5



4. SK-04

24 图 9



5. SK-06

24 图 12



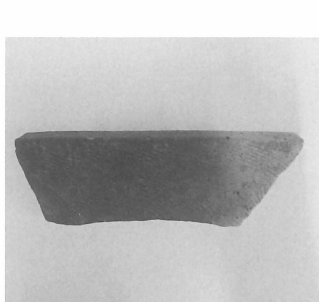
6. SK-04

24 图 13



7. SK-09

24 图 14



8. SK-10

24 图 15



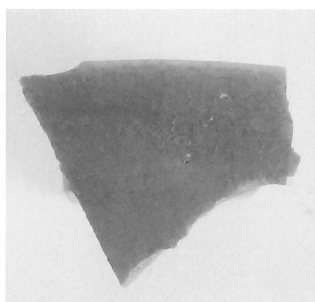
9. SK-11

24 图 16



10. SK-11

24 图 17



11. SK-11

24 图 18



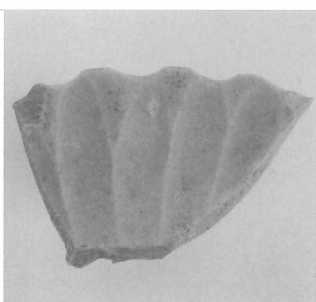
12. SK-12

24 图 20



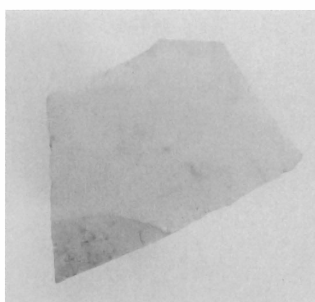
13. SK-12

24 图 21



14. SK-12

24 图 22



15. SD-01

25 图 2



16. SD-01

25 图 3



17. SD-02

25 图 4



18. SD-02

25 图 5



19. SD-02

25 图 6



20. SD-02

25 图 7



1. SD-02

25 图 9



2. SD-03

26 图 1



3. SD-03

26 图 2



4. SD-03

26 图 3



5. SD-03

26 图 4



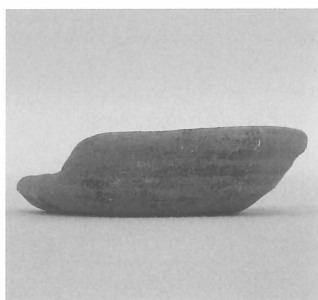
6. SD-03

26 图 5



7. SD-03

26 图 6



8. SD-03

26 图 7



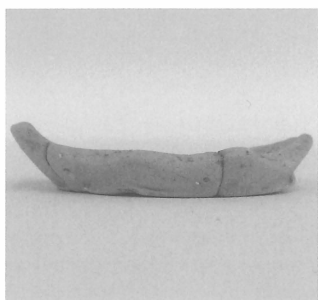
9. SD-03

26 图 8



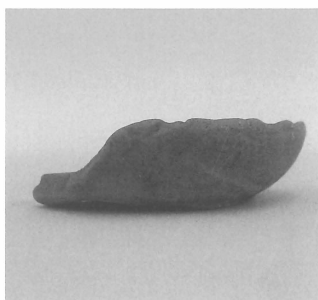
10. SD-03

26 图 9



11. SD-03

26 图 10



12. SD-03

26 图 11



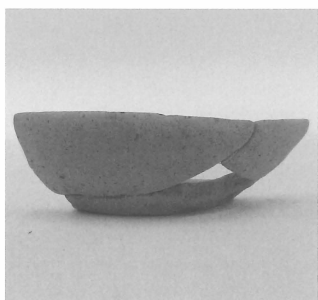
13. SD-03

26 图 12



14. SD-03

26 图 13



15. SD-03

26 图 14



16. SD-03

26 图 15



17. SD-03

26 图 16



18. SD-03

26 图 17



19. SD-03

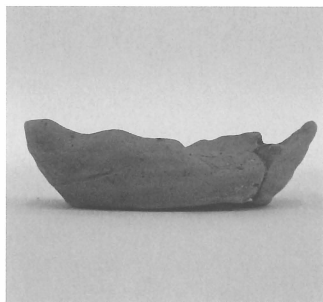
26 图 18



20. SD-03

26 图 20

图版 7



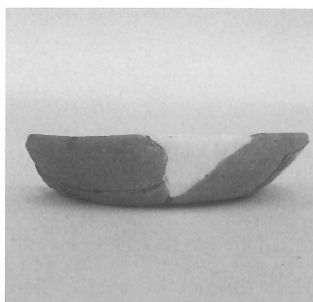
1. SD-03

26 图 21



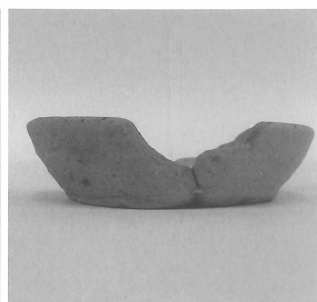
2. SD-03

26 图 22



3. SD-03

26 图 23



4. SD-03

26 图 24



5. SD-03

26 图 25



6. SD-03

26 图 27



7. SD-03

26 图 31



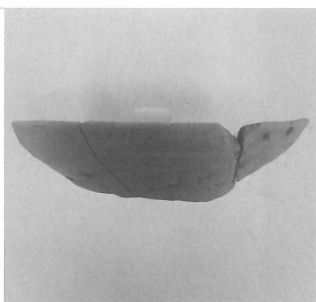
8. SD-03

26 图 32



9. SD-03

26 图 34



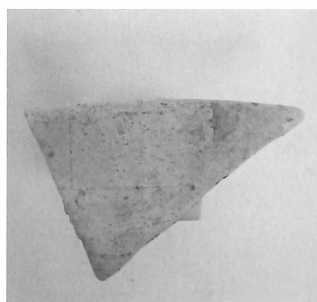
10. SD-03

26 图 35



11. SD-03

26 图 36



12. SD-03

26 图 37



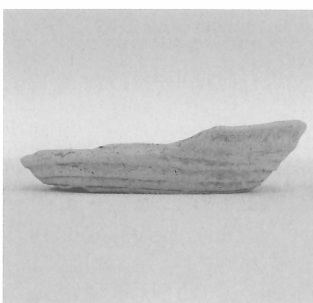
13. SD-03

26 图 41



14. SD-03

26 图 43



15. SD-03

26 图 44



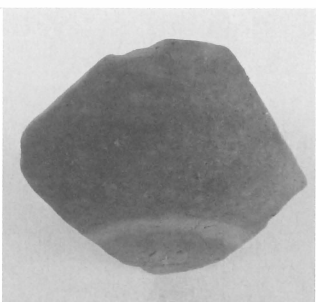
16. SD-03

26 图 45



17. SD-03

26 图 46



18. SD-03

26 图 47



19. SD-03

26 图 48



20. SD-03

26 图 49



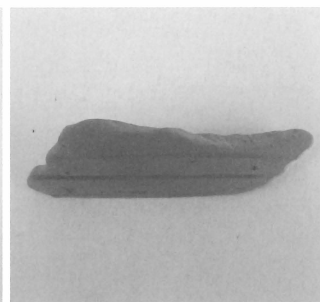
1. SD-03

26 图 71



2. SD-03

26 图 71



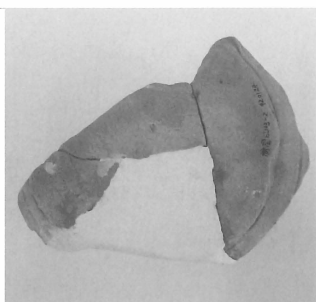
3. SD-03

27 图 51



4. SD-03

27 图 52



5. SD-03

27 图 53



6. SD-03

27 图 54



7. SD-03

27 图 55



8. SD-03

27 图 56



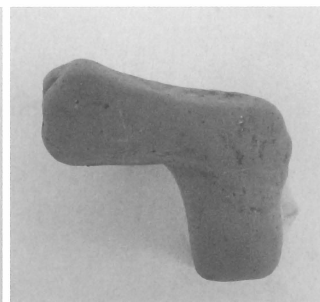
9. SD-03

27 图 59



10. SD-03

27 图 64



11. SD-03

27 图 65



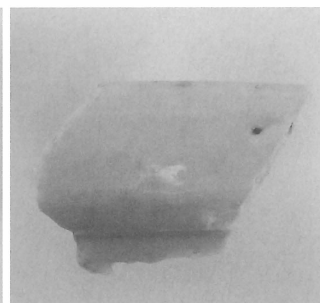
12. SD-03

27 图 66



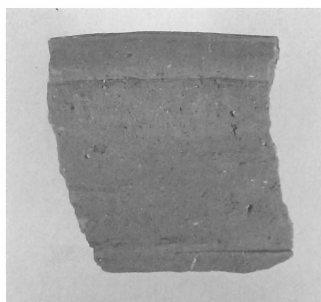
13. SD-03

27 图 67



14. SD-03

27 图 68



15. SD-03

28 图 70



16. SD-03

28 图 73



17. SD-03

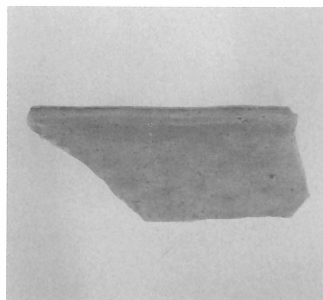
28 图 74



18. SD-03

28 图 75

图版 9



1. SD-03

28 图 76



2. SD-03

28 图 77



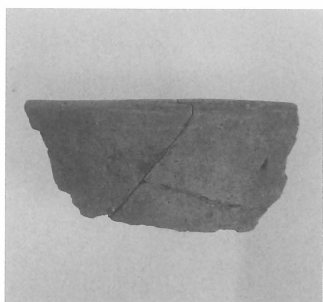
3. SD-03

28 图 78



4. SD-03

28 图 79



5. SD-03

28 图 80



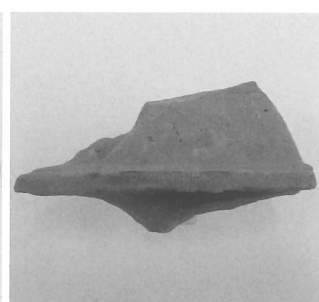
6. SD-03

28 图 82



7. SD-03

29 图 83



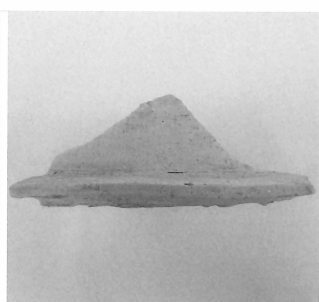
8. SD-03

29 图 84



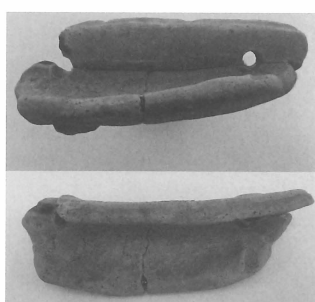
9. SD-03

29 图 85



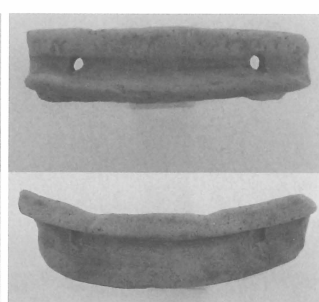
10. SD-03

29 图 86



11. SD-03

29 图 87



12. SD-03

29 图 88



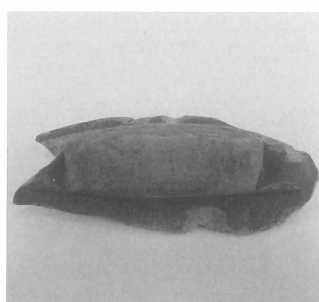
13. SD-03

29 图 89



14. SD-03

29 图 90



29 图 91



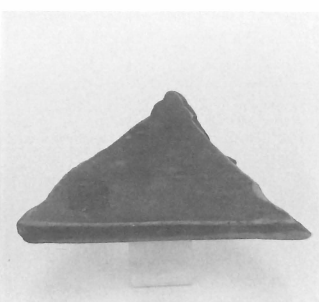
15. SD-03

29 图 92



16. SD-03

29 图 93



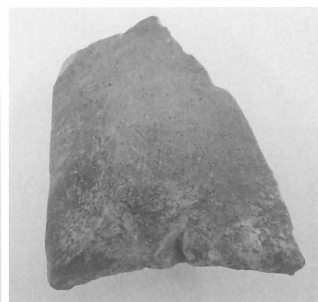
29 图 94



1. SD-03



30 图 94



2. SD-03



30 图 95



3. SD-03



30 图 96



4. SD-03



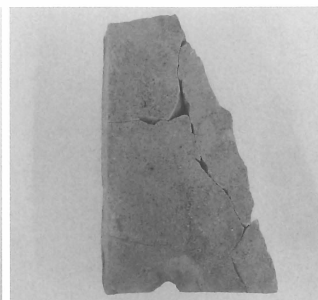
30 图 97



5. SD-03



30 图 98



6. SD-03

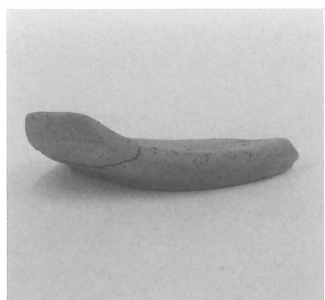


30 图 99



7. SX-01

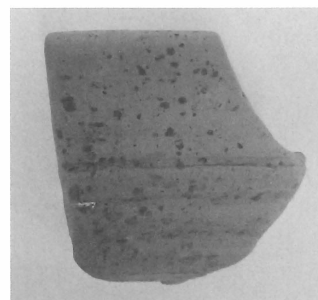
31 图 1



8. SX-01

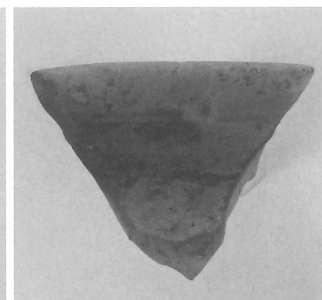


31 图 3



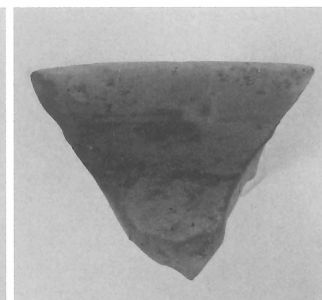
9. SX-01

31 图 5



10. SX-01

31 图 7

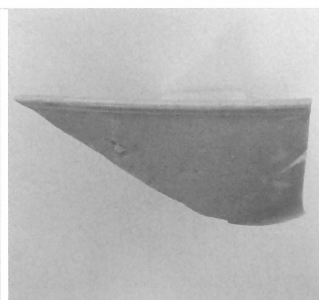


11. SX-01

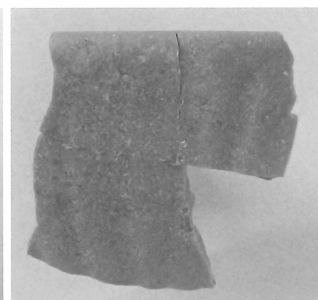
31 图 9



12. SX-01



31 图 10



13. SX-01

31 图 11



14. SX-01

31 图 12



15. SX-01

31 图 13

图版 11



1. SX-02

31图14



2. SX-02

31图15



3. SX-02

31图17



4. SX-02

31图18



5. SX-02

31图19



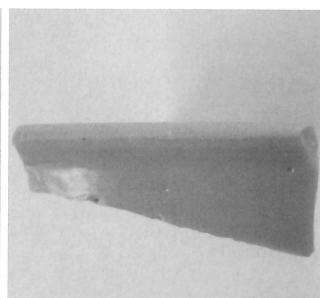
6. SX-02

31图21



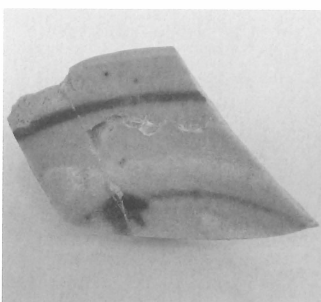
7. SX-02

31图22



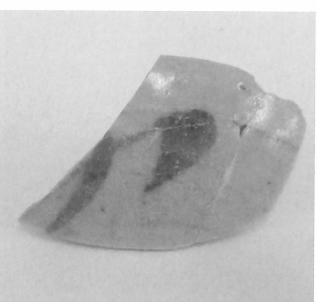
8. SX-02

31图23



9. SX-02

31图24



10. SX-02

31图25



11. SX-03

31图27



12. SX-03

31图28



13. SX-03

31图29



14. P-131

32图2



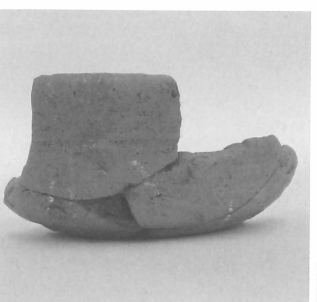
15. P-134

32图3



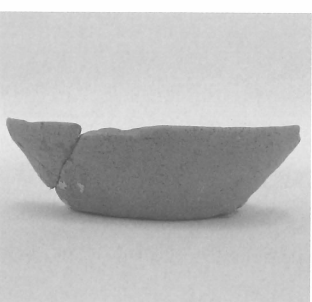
16. P-38

32图7



17. P-53

32图8



18. P-65

32图9



19. P-116

32图11



1. P-54

32 图 12



2. P-223

32 图 14



3. P-12

32 图 15



4. P-82

32 图 17



5. P-123

32 图 18



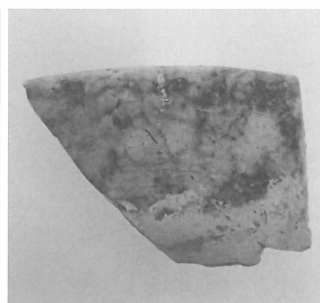
6. P-85

32 图 19



6. P-183

32 图 20



7. P-288

32 图 22



8. P-17

32 图 24



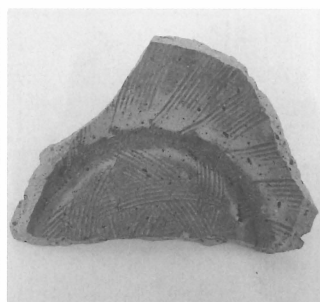
9. P-71

32 图 27



10. P-178

32 图 29



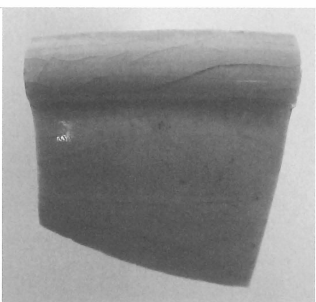
11. P-199

32 图 30



12. P-119

32 图 31



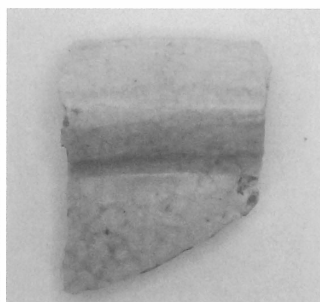
13. P-62

32 图 32



14. P-216

32 图 33



15. P-189

32 图 35



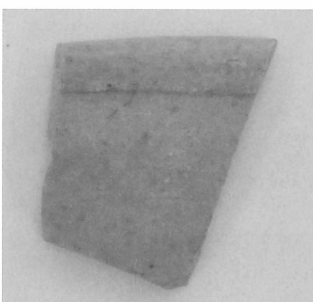
16. P-232

32 图 37



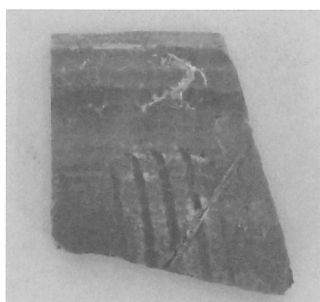
17. P-144

32 图 38



18. P-241

32 图 39



19. P-105

32 图 40

図版 13



1. P-72



2. トレンチ 10 33 図 1



3. トレンチ 10 33 図 2



4. トレンチ 10 33 図 3



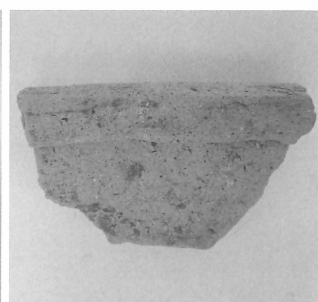
5. トレンチ 10 33 図 4



6. トレンチ 11 33 図 5



7. トレンチ 12 33 図 7



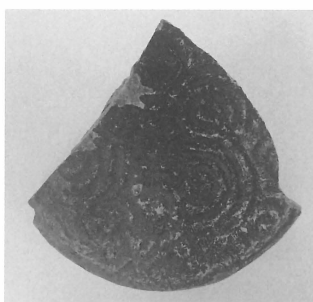
8. トレンチ 12 33 図 8



9. トレンチ 12 33 図 9



10. 表採 34 図 1



11. 表採 34 図 3



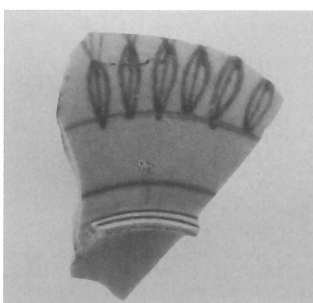
12. 表採 34 図 6



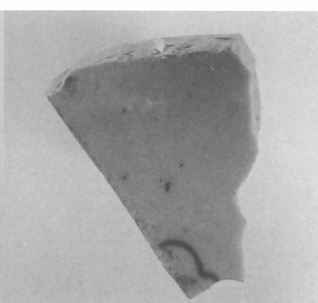
13. 表採 34 図 7



14. 表採 34 図 10



15. 表採 34 図 13



16. 表採 34 図 11



17. 表採 34 図 14



18. 表採 34 図 17



19. 表採 34 図 17



20. 表採 34 図 17

報告書抄録

ふりがな		やめしないいせきぐん						
書名		八女市内遺跡群12						
副書名		福岡県八女市川犬所在遺跡の調査報告書						
巻次								
シリーズ名		八女市文化財調査報告書						
シリーズ番号		第119集						
編著者名		永田 寧(ながた やすし)						
編集機関		八女市教育委員会						
所在地		〒834-8585 福岡県八女市本町647 TEL 0943-23-1982						
発行年月日		西暦2017年3月31日						
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村 遺跡番号		北緯 。' "	東経 。' "	調査期間	調査面積	調査原因
みこしやすめ 御輿休	ふくおかけん 福岡県 やめし 八女市 かわい 川犬	40210	407023 -01	33° 11' 14"	130° 32' 00"	1992.02.18 ～1992.03.31	1,500㎡	圃場 整備
かきぞの 柿園			407023 -02	33° 11' 12"	130° 32' 00"	1991.12.27 ～1992.03.31	3,000㎡	
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
みこしやすめ 御輿休	集落	中世	- 掘立柱建物 - 溝状遺構 - 土坑		- 土師器 - 瓦器 - 陶磁器 - 鉄製品			
かきぞの 柿園	集落	古代 中世	- 竪穴住居 - 土坑 - 不明遺構 - 溝状遺構		- 土師器 - 瓦器 - 陶磁器			
要約 御輿休遺跡と柿園遺跡は共に隣接しており、御輿休遺跡では、掘立柱建物の可能性のあるもの1軒のほか、土坑、溝状遺構がみついているほか、青銅製の円錐状をした小片（キセルか）が出土している。柿園遺跡では、竪穴住居1軒、土坑、溝状遺構がみられ、調査区の南西部でコーナーを有して巡る3号溝状遺構では、瓦や火鉢、火舎、鍋などの遺物が出土し、この遺跡における出土品の半数以上を占める。底部糸切りの土師器と共に瓦器・陶磁器が出土し、時期は15～16世紀頃と考えられる。								

八女市内遺跡群 1 2

八女市文化財調査報告書

第 1 1 9 集

平成 29 年 3 月 31 日

発行 八女市教育委員会

八女市本町 6 4 7

印刷 橋爪印刷

八女市吉田 1 8 9 9 - 1